

(様式2)

団体の概要

共同事業体名:京急グループ共同企業体

(平成27年6月現在)

(共同事業体でない場合は、上記の部分空欄にするか削除してください)

団体名	株式会社京急アドエンタープライズ			
所在地	〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-13-8 三井生命上大岡ビル2F			
代表者	取締役社長 岩田 圭祐			
設立年月日	平成4年 12月			
沿革	平成4年12月/京急観光株式会社から分離・独立し、株式会社京急アドエンタープライズを設立 平成5年4月/横浜オフィス(横浜市西区鶴屋町)、東京オフィス(港区高輪)で営業開始 平成6年9月/本社事務所、横浜市西区北幸へ移転 平成9年4月/本社事務所、横浜市港南区上大岡(ゆめおおおかオフィスタワー21階)へ移転 平成21年2月/東京事務所、港区高輪(京急第2ビル3階)へ移転 横浜事務所、横浜市港南区上大岡(ゆめおおおかオフィスタワー3階)へ移転 平成22年4月/横浜事務所、横浜市港南区上大岡(三井生命ビル2階)へ移転			
事業内容等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各種広告業務 ■ 交通広告業務 ■ 広告宣伝に関する企画、立案および制作 ■ 各種イベントの企画、立案および実施 ■ ホームページの企画、立案および制作 ■ 各種情報の収集、統計、分析、販売並びに広告効果の測定 ■ 出版、写真、印刷、映画、コマーシャルの企画、立案および制作 ■ 店頭広告、ネオン広告、電飾広告、宣伝看板、掲示板等の企画、設計および施工 ■ 語学、音楽、花道、茶道、絵画、陶芸、工芸品等の文化教室の経営 ■ ホール運営の企画、立案および実施 ■ その他、付帯関連する一切の業務 			
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ■平成19年3月 全国森林組合連合会「森の仕事ガイド」広報業務 ■平成19年9月 かながわEVフォーラム企画・運営実施 ■平成20年6月 エコカーワールド2008企画・運営実施、八都府市エコドライブトーキョー企画・運営実施 ■平成21年3月 かながわ電気自動車フェスタ2009企画・運営実施 ■平成21年4月 Y150ペイサイドエリア博報堂JVにて企画・運営実施 ■平成22年11月 かながわハートフルフェスタ2010in平塚の設営・運営 			
財政状況	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
(※直近3か年の事業年度分)	総収入	6,255,384千円	6,551,389千円	6,474,199千円
	総支出	6,021,471千円	6,292,160千円	6,225,073千円
	当期収支差額	139,824千円	144,490千円	145,414千円
	次期繰越収支差額	1,427,185千円	1,299,360千円	1,166,870千円
応募に関する担当連絡先				
連絡担当者	【氏名】	【所属】		
	【電話】	【FAX】		
	【E-mail】			
特記事項				

団体の概要

共同事業体名： 京急グループ共同企業体

(平成 27 年 4 月現在)

(共同事業体でない場合は、上記の部分を空欄にするか削除してください)

団体名	株式会社クラフト			
所在地	〒168-0078 東京都杉並区下高井戸一丁目 18 番 12 号 ※法人にあっては登記簿上の本店所在地を、任意団体にあっては代表者の住所をご記入ください (市税納付状況調査に使用します)。			
代表者	代表取締役 鈴木秀典			
設立年月日	昭和 57 年 1 月 6 日			
沿革	昭和 56 年 9 月 東京都世田谷区にて創業 舞台スタッフ業務実施 昭和 57 年 1 月 株式会社クラフト設立 昭和 57 年 ホール運営管理業務開始 昭和 62 年 企画制作業務開始 平成 5 年 デジタルコンテンツ業務開始 平成 9 年 本店移転			
事業内容等	文化施設の設計コンサルティング及び運営管理 照明設計及び操作 イベント企画・制作・演出・運営 デジタルコンテンツ企画・製作 映像ソフト製作 上記関連業務一切			
主な実績	<ul style="list-style-type: none"> ■文化施設設計コンサルティング及び運営管理 森ビル関連文化施設・新都市ホール・新宿パークタワーホール・天王洲アートスフィア ■企画制作演出 千葉県国体・山口国体・長崎国体開閉会式/スポーツイベント/企業イベント/周年式典 ■照明 テーマパーク(浦安他)・イベント・舞台芸術・式典の照明デザイン及びオペレーション ■音響 コンサート、各種イベント音響設計及びオペレーション ■映像・デジタルコンテンツ 各種イベント映像素材製作/文化施設運営管理システム設計(森ビル・東京ガス・オペラシティ(チケット販売システム)) 			
財政状況 (※直近 3 か年の 事業年度分)	年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
	総収入	617,622,032	592,706,487	582,216,405
	総支出	611,371,179	587,519,695	578,896,945
	当期収支差額	6,250,853	5,186,792	3,319,460
	次期繰越収支差額	104,003,710	108,788,874	110,411,541
応募に関する担当連絡先				
連絡担当者	【氏名】	【所属】		
	【電話】	【FAX】		
	【E-mail】			
特記事項	内装仕上工事業東京都知事許可(般-26)第 132984 号 平成 26 年 8 月 5 日～平成 31 年 8 月 4 日 プライバシーマーク使用許可認定番号 第 17000458(03)号 JIS Q 15001:2006 準拠 事業所 株式会社クラフト 平成 26 年 3 月 23 日～平成 28 年 3 月 22 日			

団体の概要

共同事業体名: 京急グループ共同企業体

(平成27年4月現在)

(共同事業体でない場合は、上記の部分空欄にするか削除してください)

団体名	京急サービス株式会社			
所在地	〒233-0002 横浜市港南区上大岡西1-6-1 ※法人にあっては登記簿上の本店所在地を、任意団体にあっては代表者の住所をご記入ください (市税納付状況調査に使用します)。			
代表者	取締役社長 佐々木 久雄			
設立年月日	昭和 46 年 2 月			
沿革	昭和46年2月 京急レジャーサービス株式会社設立(川崎市) 昭和52年8月 京急サービス株式会社に改称 平成10年4月 本店を横浜市(港南区)に移転 平成18年4月 横浜市港南区民文センター指定管理業務開始			
事業内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・設備管理保守業務 ・警備業務 ・環境整備業務 ・マンション管理業務 ・介護、家事代行業務 ・チャイルドケア(保育園運営)業務・その他サービス業務 			
主な実績	横浜市港南区民文化センター指定管理業務 横浜市 水道局 水道メーター検針および料金整理員業務(金沢区・磯子区) 横須賀市総合体育会館、北、南、西体育会館指定管理業務 横須賀市自転車等駐車場指定管理業務			
財政状況 (※直近3か年の 事業年度分)	年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
	総収入	11,481,662,102	11,333,690,306	10,566,825,548
	総支出	10,820,413,597	10,605,000,663	9,972,430,769
	当期収支差額	324,707,026	427,586,058	308,284,099
	次期繰越収支差額	3,172,607,163	2,829,979,567	2,422,393,509
応募に関する担当連絡先				
連絡担当者	【氏名】	[REDACTED]		【所属】 [REDACTED]
	【電話】	[REDACTED]		【FAX】 [REDACTED]
	【E-mail】	[REDACTED]		
特記事項				

1 団体の状況

1/2

私ども京急グループ共同企業体は、構成会社の(株)京急アドエンタープライズ、(株)クラフト、京急サービス(株)の三社それぞれの得意分野を持ち寄り、最大の効果を発揮させて港南区民文化センター「ひまわりの郷」の指定管理業務を2期9年にわたり行なってまいりました。地域の皆さまに愛され、おかげさまをもちまして各スタッフの熟練度も上がり、円滑に運営・管理を行なっております。

■ 株式会社 京急アドエンタープライズ

京急アドエンタープライズは、1992年12月に京急グループのハウスエージェンシー（広告主専属の広告代理業）として誕生。以来、京急沿線地域を中心に、グループの一員としてそのネットワークを駆使し、最新の情報やマーケティング・ノウハウを余すところ無く生かしながら、クライアントの広告戦略作りには貢献しております。京急グループ各社から受け継いだサービスに対する厳しい姿勢。そして、地域に密着した無駄のない確かなメッセージ伝達力。それらをひとつに結集し、常に、新たな視点から広告ビジネスを、より理論的に、より効果的に遂行し、クライアントと一緒に「効く広告」をクリエイティブし続け、グループ企業のみならず地域の一般企業、行政や官公庁など、広く喜んで頂けるように成長しました。またこれらのプロモーション・イベント運営のノウハウを生かした、管理・運営能力を最大限に生かし、指定管理等の各種受託事業も行なっております。これからも当社の経営理念にある通りお客様に感動と喜びを提供していきたいと考えます。

■ 株式会社 クラフト

株式会社クラフトは、照明デザイン・オペレーションを主力とする舞台技術サービス提供企業として昭和57年に設立されました。昭和57年森ビル株式会社様の新規事業文化施設運営事業の開始と共に文化施設設計コンサルティング・文化施設運営管理を業務とする【ホール管理部】を設置、昭和62年イベント企画・演出・運営・制作を業務とする【企画制作部】をスタートしました。

私共の目指すのは【創造的なコミュニケーションサービスの提供】

最新の技術を導入することを躊躇することなく、時代に反応した若々しい感性を持ちつづけ、そして同時に現場に立脚した慎重さを忘れることがないこと。

このことを通じて、お客様のニーズにマッチした、コストパフォーマンスの高い、質の高いサービスを提供していくことを行動基準に、あくまでも For the Customer を使命としております。

【舞台技術部門】

先端舞台技術を活用するクライアント（浦安のテーマパーク）とのイベント製作や異能プランナーとのコラボレーションにより、最新技術・手法を取得し、デザイン・オペレーションに活用するばかりでなく他部門へ情報を共有しています。

【ホール管理部】

日本に於ける多目的ホール草創期に、設計コンサルティングとして新しい設備提案、設計思想を導入、管理運営面では、民間企業の採算性を重視した管理スタイルを構築してまいりました。

常に新しい技術と向き合い、利便性向上のために提案をしております。

【企画制作部門】

行幸啓式典・企業式典などの企画演出では緻密な設計・正確な進行を提供しております。

特に国体開閉会式式典前演技においては、県民協働創造事業として地域の歴史、文化をテーマにした構成劇を企画構成し、開催県文化団体、児童学生、地域伝統芸能などの出演者、制作者と共に事業を創造しております。

各部門のスキル・ノウハウを活かし港南区の文化振興に貢献してまいります。

団体名

京急グループ共同企業体

1 団体の状況

2/2

■ 京急サービス株式会社

京急サービス株式会社は、京急グループの一員として昭和46年に設立され、レジャー事業（ボウリング場・ゴルフ練習場・スイミングスクール経営等）から、ビルメンテナンス事業に主軸を移して以来、安全・快適・清潔な生活環境を創造することが努めであるとの経営理念に基づき、京急沿線の発展と地域社会への貢献を追求してまいりました。

主に、京浜急行の駅・施設、商業ビルの警備・清掃・設備管理業務を通して、京急沿線のお客様へ安全と安心のサービスを提供する企業となりますが、これに加え、地域の皆さまとの交流を、より一層深めるため「保育園事業（うち横浜市認可保育園5園）」・「介護事業」・「家事代行」なども積極的に展開しております。

京急グループ共同企業体として、当社の主な役割は「保守管理業務」「環境維持管理業務」となりますので、主力業務である建物総合管理業務の経験やノウハウを存分に生かすことができる分野であることは言うまでもありません。

私たちは、仕事を通じて社会の発展と繁栄に貢献するとともに、感謝と誠意をもって仕事に取り組み、社会全体の幸福を追求してまいります。

団体名

京急グループ共同企業体

2 団体の実績

1/2

株式会社 京急アドエンタープライズ

《請負業務》

- 平成 9年 4月～ 横浜新都市センター株式会社（横浜ポルタ）インフォメーション運営業務
 平成18年 4月～ 横浜市港南区民文化センター指定管理業務
 平成21年 8月～ 京浜急行電鉄株式会社（京急ご案内センター）コールセンター運営業務
 平成26年 4月～ 川崎市港湾振興会館（川崎マリエン）指定管理業務

《イベント企画運営業務》

- 平成22年6月～11月 横浜市「APEC 横浜開催 市民参加イベント」運営業務
 平成22年6月～11月 第48回技能五輪全国大会・第32回全国障害者技能競技大会推進協議会
 「技能ルネッサンス1かながわ2010 併催イベント」運営業務
 平成22年 7月 中高生のための大学セミナー実行委員会「かながわ発・中高生のためのサインシア」運営業務
 平成22年10月～11月 東京都 羽田空港国際線ターミナル開業に伴う海外旅客向けプロモーション企画運営業務
 平成22年11月 第17回鉄道の日関東実行委員会「YOKOHAMA トレインフェスティバル2010」イベント企画運営業務
 平成22年11月 神奈川県知事「かながわハートフルフェスタ2010in ひらつか」企画運営業務
 平成23年 1月 鎌倉市「平成23年度成人のつどい」企画運営業務
 平成23年 8月 横須賀市観光協会 よこすか開国祭開国花火大会運営業務
 平成23年10月 横浜市「みどりのオープンフォーラム」運営業務
 平成23年11月 よこすかシーサイドマラソン実行委員会
 第35回よこすかシーサイドマラソン制作・開会式・表彰式・閉会式等式典運営
 平成23年11月 第18回鉄道の日関東実行委員会「YOKOHAMA トレインフェスティバル2011」イベント企画運営業務
 平成24年 1月 鎌倉市「平成24年度成人のつどい」企画運営業務
 平成24年 3月 防衛省南関東防衛局 平成23年度日米スポーツ及び食文化交流事業委託業務
 平成24年 6月 横須賀市 よこすかYYのりものフェスタ会場設営・運営業務
 平成24年 7月～10月 横浜市 Dance Dance Dance@YOKOHAMA 2012 クロージingleレセプション運営業務
 平成24年10月～（以降各年）川崎港振興協会「第39回川崎みなと祭り」会場設営・運営
 平成25年 8月 南関東防衛局 平成25年度日米交流事業（防災交流）委託業務
 平成25年 9月 マレーシア政府観光局 JATA旅博マレーシアパビリオン制作運営費
 平成25年 9月 横浜市西区食品衛生 横浜市西区食品衛生協会イベント運営費
 平成25年10月 横浜市 三井アウトレットパーク横浜ベイサイド 横浜音祭り2013PR業務
 平成25年10月 川崎港振興協会「第40回川崎みなと祭り」会場設営・運営
 平成26年 2月 南関東防衛局 平成25年度日米交流事業（日米スポーツ交流）委託業務
 平成26年 8月 横浜江ノ川組織委員 ヨコハマトリエンナーレ2014 オープニングレセプション運営等業務委託
 平成26年10月 さかえ森の魅力づくり 栄区民まつりのMISIAの森プロジェクトゾーンの会場設営委託業務
 平成26年11月 横浜市中央卸売市場「食と農の祭典2014」
 平成27年 1月 横浜市平成26年度横浜市「介護の日&よこはま健康スタイル」フォーラムイベント運営業務委託
 平成27年 1月 横浜市 栄区防災フォーラム開催に伴う業務委託
 平成27年 3月 神奈川県 神奈川県戦没者追悼式典会場設営費
 平成27年 5月 横浜市 『「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」海上見学会』業務委託

団体名

京急グループ共同企業体

2 団体の実績

2/2

株式会社 クラフト

昭和58年	ラフォーレミュージアム原宿	東京都渋谷区	運営・管理
昭和59年	中野サンプラザホール	東京都中野区	舞台・照明管理
昭和60年	新都市ホール	横浜市西区	運営・管理
平成5年	ラフォーレミュージアム六本木	東京都港区	運営・管理
平成6年	パークタワーホール	東京都新宿区	運営・管理
平成15年	中央会館	東京都中央区	舞台・照明管理
平成15年	六本木ヒルズアリーナ	東京都港区	運営・管理
平成18年	港南区民文化センター	横浜市港南区	指定管理者
平成18年	表参道ヒルズ	東京都渋谷区	運営・管理

京急サービス株式会社

昭和58年11月	京急第1ビル「総合管理(設備管理・警備・清掃)」業務開始		
昭和62年11月	横浜市(能見台)集中監視センター「機械警備」業務開始		
昭和63年4月	横浜駅東口地下街「総合管理(設備管理・警備・清掃)」業務開始		
平成8年10月	上大岡京急百貨店「総合管理(設備管理・警備・清掃・駐車場管理)」業務開始 ゆめおおおかオフィスタワー「清掃・警備・駐車場管理」管理業務開始		
平成9年10月	横須賀リサーチパーク1番館・2番館他「総合管理・設備管理・警備・清掃」業務開始 横須賀集中監視センター「機械警備」業務開始		
平成10年1月	NTT移動通信網YRP研究所「警備」業務開始		
平成10年4月	川崎市産業振興会館「設備管理・警備」等業務開始		
平成10年6月	東京都港区台場ホテルグランパシフィック「警備・清掃・駐車場」管理業務開始		
平成10年8月	川崎地下街「清掃」業務開始		
平成11年3月	川崎地下街「設備管理」業務開始		
平成12年4月	訪問介護事業(京急ライフサポート)開業 京急なかよし保育園(京急キッズランド金沢文庫保育園に改称)開設		
平成12年12月	京急キッズランド井土ヶ谷駅保育園開設		
平成14年3月	京急キッズランド上大岡保育園開設		
平成16年1月	横浜市水道メーター検針業務開始		
平成16年3月	ホテルYRP運営開始		
平成16年10月	日本生命丸の内ビル「清掃」業務開始		
平成18年4月	横浜市港南区民文化センター指定管理業務開始		
平成19年4月	京急キッズランド上永谷保育園開設		
平成20年5月	鉄道警備センター開設(京急電鉄列車内の「警備」業務開始)		
平成24年4月	みなとみらい線(新高島駅・元町・中華街駅)「設備管理・清掃」業務開始		
平成25年4月	京急キッズランド港町駅前保育園・黄金町保育園開設		
平成26年4月	横須賀市体育会館施設指定管理業務開始		
平成27年4月	横須賀市自転車等駐車場指定管理業務開始		

団体名

京急グループ共同企業体

4 市の文化政策等に対する見解

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」の前文において「劇場、音楽堂等は文化芸術を継承し、創造し、及び発信する場であり、人々が集い、人々に感動と希望をもたらす、人々の創造性を育み、人々が共に生きる絆を形成するための地域の文化拠点である」と定義され、かつ劇場、音楽堂等は「全ての国民が、潤いと誇りを感じることのできる心豊かな生活を実現するための場として機能」と「常に活力ある社会を構築するための大きな役割」があるとされています。

これまで私どもは、港南区民文化センターにおいて優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供はもとより、「港南ストリートダンスコンテスト」に代表される、地域に密着し地域の方々に参加する事業を展開してまいりました。「人々が集い、感動と希望をもたらす。」優れた舞台芸術の鑑賞機会を創出するだけでは、なかなか為し得ないことを、高校生や子ども達が起爆剤となって実現をしています。

これらの創造事業は長期的な視点に立ち、地域と文化活動と区民文化センターの間の丁寧な関係性構築の上に初めて成り立つものであると理解しています。後述の、地域コミュニティや文化的コモンズの形成。社会的包摂と市民協働。どれも欠くことはできない、重要な要素と考えております。

これらの事を踏まえ、「横浜市文化芸術創造都市施策の基本的な考え方」の基本方針を以下のように捉え、港南区民文化センターの事業に取り組んでまいります。

心豊かな港南区民の生活の実現を目指し、文化芸術活動を支援してまいります。

鑑賞型事業では、区民の文化醸成の手段と位置づけ、実施することだけを目的とするのではなく、多種多様化する地域の方々のニーズやトレンドなどを反映しながら、子どもからシニアまで幅広い年齢層に対応した年間50本程度のコンサートや体験型イベントを行ない、区民が文化に触れることができる機会を創造してまいります。(低料金で質の高いクラシックコンサート、乳児も対象の親子で楽しむ音楽コンサート、シニアを対象にした日本の伝統芸能(邦楽、落語)、等)

創作活動の機会の提供では、区民参加型の各種講座やワークショップの開催。一般市民参加のミュージカルの実施。障がい者の方の発表の場の提供。高校生が主体運営するストリートダンスコンテストの実施。練習室利用者へ向けた発表の場の創出等、区民の文化芸術活動を支援いたします。

また文化情報発信拠点としての機能、情報を強化増強し、拠点施設としての信頼を獲得してまいります。

子どもたちや若手の文化の担い手の育成に貢献いたします。

子どもたちの創造性をはぐくみ、豊かな情操を養う機会を拡大するため、横浜市芸術文化教育プラットフォーム・学校プログラムを通じて、鑑賞型プログラムや体験型プログラムを区内の小学校に展開してまいります。好評の「子どもミーツオーケストラ(小学生対象にオーケストラのコンサートを鑑賞し、その中で楽器紹介や指揮者体験)」も引き続き開催し、子どもたちの音楽芸術の芽を育てます。

また横浜などで活動を続けるアートNPOや芸術団体とゆるやかな連携をすすめ、新進アーティストの育成など、新たな文化の担い手を育ててまいります。

横浜らしい文化芸術を発信を支援してまいります。

横浜トリエンナーレ、ダンスフェスティバル、音楽フェスティバルと新たな横浜のシンボリック事業としてを毎年夏から秋にかけて3つのヨコハマ・アート・フェスティバルが開催されてはいますが、世界水準のオリジナルな文化芸術の発信、賑わいづくりと経済の活性化、市民協働と子どもをはじめとした次世代育成というフェスティバル開催の3つの基本理念を理解し、港南区民文化センターにおいても、これらの横浜らしい特色のある芸術フェスティバルにあわせて事業を構築し、All 港南⇒All 横浜への流れを構築してまいります。

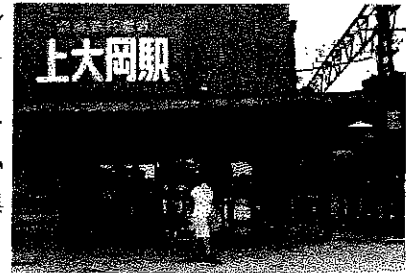
団体名

京急グループ共同企業体

5 応募理由

京急の前進の湘南電気鉄道は広大な農村地帯の真ん中に駅を作りました。それは今から85年前、横浜市に編入されたばかりの上大岡でのことです。1日の乗降客数は20名ほどの無人駅でした。

しかし駅ができれば人は集います。商店ができ、商店街となっていきました。運良く空襲の被害にも合わず、高度成長期を経て繁華性の高い商業地域として上大岡は発展を続け、京急線だけで1日の乗降客数14万人と横浜、品川に次ぐ第3位までの駅に成長しました。



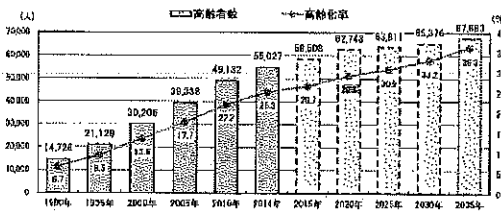
世は昭和から平成に変わり、上大岡駅周辺の再開発によって誕生した港南区民文化センターも今年で18歳。私たち京急グループ共同企業体がこの館のお手伝いをさせて頂くようになって9年が経過しました。

「おらが街にも音楽ホールができた」であれば賑わい豊かとなったはずのこの館も、開館当初からしばらくは、来館者数がなかなか伸びないことが悩みの種で、私どもに館をおまかせ頂くようになってからも、港南区の皆さんにサービスを「提供」することに重きをおいておりました。リーズナブルでありながら良質の自主事業。清潔で管理の行き届いた施設提供。ホスピタリティに溢れる接遇。などなど、運輸に限らず流通やホテルなどサービスの世界で培った京急グループのノウハウを生かし、着実に館運営を行なってまいりました。その甲斐もあり少しずつ来館者は増えてまいりました。

これら館の運営の中で私たちは意外な事を学びました。

一般的に顧客重視とはお客さまに「良質なサービスの提供を行なって」お喜びいただいて満足して再びサービスをご利用いただけることを目指します。しかしながら区民「文化」センターの運営は「良質なサービスの提供を行なう」ことが本質では無かったのです。

本来「駅」は鉄道に乗ってどこかに出かけるために存在するのであり、「駅」に行くことが目的ではありません。「区民文化センター」も来訪されることが目的では無く、区民の方が様々な形で文化創造活動(鑑賞・発信)をするための手段となるよう機能するよう目指さなければなりません。「港南区民文化センターひまわりの郷」が港南地域の文化コミュニティの拠点となり、区民が集い、語り、創造力を発揮し、文化芸術という「旅」に出発する「駅」のような拠点として区民から期待されているのだと。



現在急速に少子高齢化が進む日本は、5年後の2020年には人口の約3割が65歳以上になると予想され、生産人口の減少、医療費・社会保障費の増大をはじめ、認知症患者の増加、介護者の疲弊、老人の孤立などさまざまな課題が突きつけられてきております。港南区も昨年高齢者率が25%を超え(市平均22.5%)しており、他人ごとではありません。

奇しくも同じ2020年には東京五輪・パラリンピックの開催が決定しており、これにあわせ横浜市は、世界向けの文化芸術の発信力を強化とアジアの文化ハブとしてのプレゼンス向上を目指し、文化プログラムの実施や横浜らしい芸術フェスティバルなどの継続的展開を掲げています。

衰退ではなく成熟へ。この一見背反しているような二つの言葉ですが、それがどちらになるかの鍵を握るのは地域の文化だと京急グループは考えます。地域が衰退してしまえば私たちのようなグループは生きていくことはできません。人はパンのみにて生きるにあらず。上大岡駅同様、ひまわりの郷をたくさんの港南区の方々が文化の旅へ出発する「駅」に育てていく、これからの5年間のお手伝いをさせて頂きたいと考えます。

団体名

京急グループ共同企業体

6 応募にあたっての基本的方針（ビジョン・ミッション含む）

ビジョン

港南区民文化センターひまわりの郷が、限られた人だけでなく、あらゆる世代・人種・性別が離合集散していく、港南区の文化・芸術の総合ターミナル（「駅」）として、機能していくことを目指してまいります。

ミッション

<p>【鑑賞系事業】 国内外の芸術文化の鑑賞と交流の機会を区民に提供します</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化との出会いをとおして、生きる喜びや感動を伝えます。 ・誰もが、音楽や演劇、ダンスに気軽に、身近に鑑賞できる機会をつくります。 ・芸術家と交流する機会や場をつくります。 ・芸術文化の専門機関として、新しい作品づくりに取り組み、未知の表現に出会う喜びを、区民の皆さんに提供します。
<p>【普及系（ワークショップ、講座等）事業】 国内外の芸術文化の鑑賞と交流の機会を区民に提供します</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術をとおして自分を表現する喜びや楽しさ、難しさを体感してもらうことによって、自己実現や日常生活に新しい可能性を発見してもらいます。 ・子どもからお年寄りまで、世代別になることなく、誰もが気軽に芸術に触れ、体験できるプログラムを提供します。
<p>【普及系事業（アウトリーチ）】 教育や福祉の現場と積極的な連携を図り、子どもや青少年の健全育成、高齢者の元気回復などに取り組みます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ひまわりの郷以外の様々な場所で、多様な区民が芸術や文化に触れる機会を提供します。 ・芸術活動をとおして、子どもたちの表現力や想像力、コミュニケーション力を養い、創造性や個性を育みます。 ・区内の学校で芸術文化教育プログラムを提供します。 ・区内のケアプラザなど福祉施設や地区センターなどと協働で、高齢者の元気回復や障がい者のリハビリテーションなどに芸術の力を活かします。
<p>【区民文化活動の支援】 区民や文化団体の主体的な芸術文化活動を支援、育成します</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化団体や文化活動をする区民の相談に応じ、専門的・技術的な支援を行なうことで、地域の芸術家・芸術団体、新進の芸術家・芸術団体の創造活動をサポートし、育みます。 ・区民文化センターで行われる利用者の催しの広報を支援し、文化活動に参加する区民同士が交流し、活動を刺激するような創造と出会いの場を提供します。 ・団体相互の活動の活性化に寄与するよう、区内の文化団体等の情報を集め、広く周知いたします。 ・区民が舞台づくりに参加したり（区民参加型事業）、文化事業を支えるボランティア等への参加を促すことで、自らの手で舞台を企画・運営・出演する機会をつくり、地域での文化活動を主導する人材の育成をすすめます。
<p>【文化的コモンズ】 港南地域のネットワークの形成に寄与してまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化団体に限ること無く、港南区の様々な団体や施設（町内会、福祉団体、商店街、他の公共施設等）について、リサーチし把握いたします。 ・区民文化センターの活動内外を問わず、区内の施設や団体と様々な機会を通じて連携関係を築き、共同事業の実施などを通じ、地域ネットワークの形成をいたします。 ・区民文化センターの外においても様々なアートプロジェクトを支援するなど、地域文化のコーディネート役として機能し、地域のつながりづくりに貢献いたします。 ・当館の専門的な経験や知識を活用し、区内のさまざまな施設や団体と積極的に連携を図り港南区全体の文化振興を支えます。 ・新しい文化の創造など、港南区固有の文化を育て、「港南区」や「かみおおおか」の存在を広くアピールし、地域を誇りに思える牽引車の役割を果たします。
<p>【ソーシャル・インクルージョン】 港南区民の様々な社会参加の機会を創出してまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術に関心がある人だけを対象とすることなく、区民文化センターに来場できない人、文化活動への参加が難しかった人を対象とした港南区全域での事業展開を行います。 ・文化活動を鍵として様々な環境や境遇にある港南区民の社会参加の機会を創出します。
<p>【ホスピタリティやサービス】 利用者に対して、きめ細かいサービスを提供し、誰もが気軽に利用でき、快適な時間を過ごせる場を提供します</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通広告やリーフレット、WEB ページなど、公演や催し物情報へのアクセス経路を工夫、充実させます。 ・あらゆる場面で、お客様を心地よく迎える接客マナーを心がけ、きめ細かい利用者サービスを充実させます（バリアフリーサービス、託児サービスなど）。 ・利用者の声に積極的に耳を傾け、利用者の視点に立った柔軟な運営を行います。 ・利用申し込みから受付、料金の支払い、当日利用、精算まで、利便性の高いサービスを整えます。
<p>【施設の維持管理】 芸術鑑賞に最適な安心、安全、快適な施設を創りだす運営体制を整え、文化活動の振興に寄与いたします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理基準の徹底を図ります。 ・清潔で心地よい施設環境を整えます。 ・設備の保守点検、メンテナンスに万全を期します。
<p>【経営体制】 効率的で円滑な運営が行えるよう、経営努力にスタッフ全員で取り組みます</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ一人ひとりが、これら「ミッション」を意識して業務を実践し、適正な人員配置で、事業の充実と効率性を両立させます。 ・事業の内容や成果、経営情報を積極的に公開し、経営の透明性とアカウンタビリティを高めます。 ・事業収入の拡大、助成金・協賛金などの外部資金の活用によって自主財源の確保に努め、施設や設備の有効な活用と経費の縮減を図り、経営効率を高めます。

団体名

京急グループ共同企業体

7 運営組織の構造、開館時間の勤務シフト、休館日設定の考え方

■ 運営組織の構造

■ 共同企業体結成の考え方と構成団体の役割

指定管理制度が導入されて以来、港南区民文化センターの維持管理業務を実施し、施設の特性、地域の特性を熟知している、経験と実績豊かなコンソーシアムが、第三期指定管理においても、各構成団体の専門性と地域の力を融合させた運営と一元的な施設管理により、港南区民の文化芸術活動を支援してまいります。

運営統括(代表企業) 株式会社京急アドエンタープライズ

京急電鉄のハウスエージェンシーとして、京急グループ各社から受け継いだサービスに対する厳しい姿勢、そして、地域に密着した無駄のない伝達力を武器にクライアントと共に歩んだ実績を活かし、施設運営を行ないます。また経営理念「沿線の新たな価値を創造し、お客さまの事業の繁栄と、社会の発展に貢献する」に基づき、地域に密着した区民協働、施設運営、事業展開を行ないます。

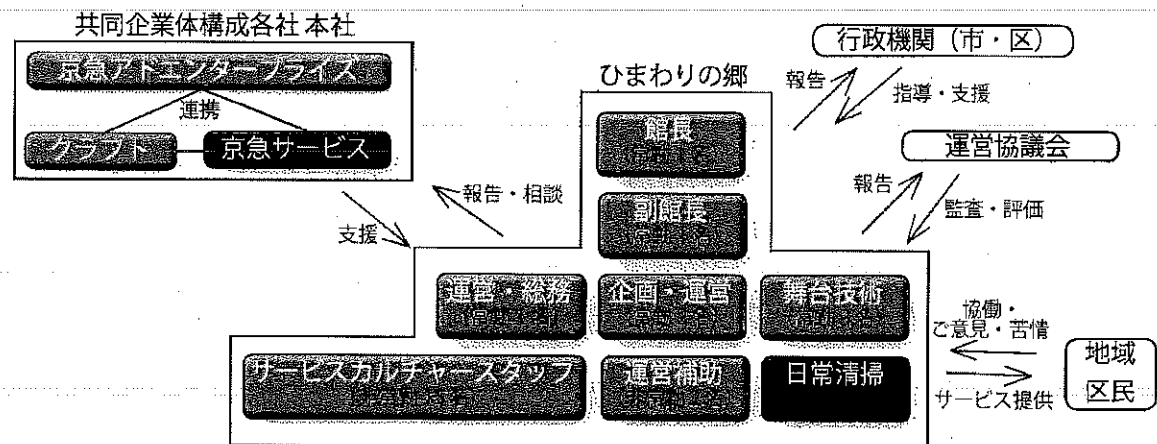
企画統括・舞台維持管理 株式会社クラブト

「創造的コミュニケーション企業」を目指し、舞台技術の専門家としてラフォーレミュージアム・六本木ヒルズアリーナ等のホール運営管理から、照明や音響、舞台のデザイン、オペレーション、各種イベントの企画、制作、運営、演出まで幅広くコンベンションビジネスを手がけています。イベントやアートなどの直接的なコミュニケーションのエキスパートとして、利用者へのアドバイスや技術サービスの提供を通じ、区民の創造発信をアシストしてまいります。

施設維持管理 京急サービス株式会社

京急アドエンタープライズ同様上大岡に本社を置き、経営理念「安全、快適、清潔な生活環境を創造することが努め」に基づき、京急沿線を中心に、ビルホテルマンション管理、警備、清掃業務、保育園や介護事業を営んでいます。港南区民文化センター館内の清掃管理業務と各設備保守点検を担うほか、ゆめおおおかビル商業棟の電気・空調・給排水設備を管理、また警備防災・清掃・駐車場管理業務についてはゆめおおおかビル全体について請け負っています。

■ 運営体制



運営体制は、図のとおり、館長、副館長に加え、総務全般を担当する職員1名、自主事業等企画や広報活動を担当する職員2名に運営補助スタッフ2名を加えた7名を施設運営全般にかかわるスタッフとし、シフト制により常時2名で施設の企画管理運営にあたります。技術者については舞台技術担当3名の常勤者でシフト勤務に就くほか、受付業務等を行なうサービスカルチャースタッフや環境維持管理を行なう清掃スタッフについても、シフト勤務にて運営にあたります。

団体名

京急グループ共同企業体

開館時間の勤務シフト、休館日設定の考え方

開館時間と休館日の取扱い

開館時間は午前9時から午後10時までといたします。この基本開館時間外のお客様の入場は原則としてお断りいたしますが、利用者の方が開演前設営や開演後の撤収等の作業のために立入ることをご希望される場合は、事前に承認された場合に限り、(ゆめおおおかビル管理組合への届け出と区の承認を受けたうえで) 時間外利用等の対応をまいります。

休館日につきましては、施設の安全維持と衛生管理のため、年末年始以外には、利用率の低い毎月第3水曜日等を休館日として設定し、舞台の機構や音響・照明設備、ピアノやギャラリー展示パネル等、定期的な保守点検を計画的に行なうほか、その休館日を利用し、施設スタッフの一斉研修や訓練等を行ないます。これら休館を行なうに際しては、施設内の掲示物を始めWEBページや施設広報誌を通じて利用者に周知を図ってまいります。なお、横浜市や港南区等から開館の要請がある場合には、これら休館日であっても、臨時に開館をいたします。

職員の勤務態勢

シフトは開館時をカバーする早番(8:45~17:15)と閉館時をカバーする遅番(13:30~22:00)の2種類を原則とし週休2日、連続5日勤務までといたします。なお、催事等で舞台装置、音響、照明)の各技術者が複数必要となった場合は、グループ企業内から非常勤の舞台技術者(変形労働時間制の通し勤務可能者)を増員派遣し、利用者のニーズに対応します。

利用申請や受付案内業務に従事するサービスカルチャースタッフについては、勤務時間区分を、午前(8:50~13:00)、午後(12:50~18:00)、夜間(17:50~22:00)の3通りとしそれぞれの時間区分ごとに5名ずつの人員を揃え、常時2名づつが勤務いたします。清掃スタッフについてはA(7:00~10:00)、B(7:00~11:30)、C(14:30~19:00)の3名が各日の環境維持に従事いたします。

これ以外に、自主事業の開催時には、カルチャースタッフの非番者のほか、各グループ企業本社から応援スタッフを増派し、催事対応にあたります。

Table with 30 rows (Jan to Dec) and 18 columns (roles like 館長, 副館長, 運営担当, etc.).

就労法規の遵守と働く人に優しい企業体を目指して
労働基準法等の遵守はもとより、企業体構成各社の就業規則や労働契約に基づき、適切な労働環境を整備するとともに、パートタイム等の臨時雇用スタッフに対しても、健康診断や年次有給休暇の付与など福利厚生を行なってまいります。

団体名

京急グループ共同企業体

8 必要人材の配置と職能、主要人材の能力担保

1/2

■ 必要な人材の配置と職能

スタッフについては、専門的な人材を確保して責任者を選任してまいります。また地域の情報やネットワークを利用者のニーズ分析や地域連携に活かすため、地域からの雇用に優先して取り組んでまいります。

職種	人数	業務内容	必要な職能
施設管理責任者(館長)	1名	<ul style="list-style-type: none"> 文化事業、施設管理運営に関わる業務責任者 コンプライアンス責任者 構成団体間の調整責任者 全体業務の統括責任者 職員の教育・指導・育成の責任者 	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設の運営のノウハウを有し、管理職としての経験が豊かで、スタッフをまとめる統率力と人事マネジメント能力を有すること。 地域とのコミュニケーションを積極的に図り、地域の声を傾聴し、事業・業務に反映できること。 区、区内施設・関係機関・各種団体・企業・助成機関等との折衝や密な連携をとることができること。 組織をまとめ、施設の設置目的・役割を全職員に浸透させ、提案書の内容を着実に効果的に実施できるようマネジメントできること。 法令順守、個人情報保護等コンプライアンスを徹底することができること。 甲種防火管理者有資格者
施設管理担当者	1名	<ul style="list-style-type: none"> 各種連絡調整に関すること 委託業者の監督指導 区民運営組織との連携及び調整 施設・備品管理・改修・修繕計画 市民利用システム運用の責任者 スタッフの雇用等人事に関すること 出納他資金管理や庶務に関すること 各種統計処理に関すること カルチャースタッフの補助・教育 	<ul style="list-style-type: none"> 総務・経理・営業等のOA機器等を使用した事務職での十分な経験をもつこと。 舞台の専門的な知識を除く、設備備品に習熟し、利用の指導助言ができること。 経理や総務、雇用に関する基礎的な知識を有すること。
施設運営責任者(副館長)	1名	<ul style="list-style-type: none"> 全体業務統括(館長)の補佐 運営(業務取りまとめと進行管理)責任者 文化事業の企画、実施。貸館業務、広報など利用者支援の責任者 年次事業計画、報告、モニタリング、各種調査対応等、調整および提出書類作成 利用促進・貸館におけるサービス向上や、施設の各種改善 利用者のご意見、ご要望や苦情等への対応 職員の教育・指導・育成 	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設で5年以上の勤務ならびに事業企画、運営の経験者 芸術の専門教育を受け、アートマネジメント、文化によるまちづくり等の基礎知識を有すること。 出演者や講師との連絡や交渉、事業参加者からの要望等に対応できるコミュニケーション能力を有すること。 事業、運営、管理全ての面での経験と実績をもち、中長期的な視点を持って、地域に根ざした事業運営や人材育成活動、コーディネート業務等を行なえること。 甲種防火管理者有資格者
企画運営担当者	1名	<ul style="list-style-type: none"> 文化事業の立案・企画・実施 各種広報計画・製作実施 他地区の区民文化センターとの企画調整・実施協力 各施設貸し出し諸手続及び利用者対応 区民文化センター各施設の活用売り込み営業 各種統計処理に関すること カルチャースタッフの補助・教育 	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設での事業等の企画、実施経験が5年以上 事業、運営、管理全ての面での一定の経験と実績をもつこと。
施設・企画運営担当者	1名	<ul style="list-style-type: none"> 文化事業の立案・企画・実施 広報に関わる計画・製作・実施 他地区の区文センターとの企画調整・実施協力 各施設貸し出し諸手続及び利用者対応 区民文化センター各施設の活用売り込み営業 	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設での運営経験が2年以上 事業、運営、管理全ての面での一定の経験と実績をもつこと。
施設補助スタッフ	2名	施設管理・施設運営の担当者に従属し業務補助を行なう	地域に生活基盤を持ち、地域の実情に明るく、音楽・美術等文化芸術に興味があり、施設運営を積極的に取り組む姿勢
舞台技術責任者	1名	<ul style="list-style-type: none"> 舞台設備及び機器等の管理責任者 舞台設備等技術に関すること 職員の教育・指導・育成 	施設経験5年以上で、舞台・音響・照明各分野での専門知識と技術を有すること。
舞台技術担当者	2名	<ul style="list-style-type: none"> 舞台設備及び機器等の安全管理 利用者の設備等利用相談及び見学説明対応 利用者の設備等利用立会・管理監督 公演時の軽易な機器の仕込と操作補助 	施設経験2年以上で、舞台・音響・照明各分野での専門知識と技術を有すること。
舞台設備担当者(非常勤)	3名	<ul style="list-style-type: none"> 舞台設備及び機器等の安全管理 公演時の軽易な機器の仕込と操作補助 各技術分野での担当者支援 	施設経験2年以上で、舞台・音響・照明各分野での専門知識と技術を有すること
清掃スタッフ	6名	<ul style="list-style-type: none"> 日常清掃(床面・扉・手すり・テーブル・窓・トイレ等) 定期清掃(バックヤードや建物外部・外構等) 	地域に居住し、清掃業務に積極的に取り組む姿勢を有すること。
サービスカルチャースタッフ	15名	<ul style="list-style-type: none"> 施設利用申込受付、施設案内、電話対応 備品貸出及び管理、用具類の保全 軽易な日常清掃業務 文化事業及び庶務業務補助 各種チケット販売 主催イベントの実施補助等 	<ul style="list-style-type: none"> 地域に生活基盤を持ち、地域の実情に明るく、文化施設に興味があり、参加意欲があること。 良好な接客態度で望めること。
全職員		救急救命・個人情報保護・事故防止に関すること。	

団体名

京急グループ共同企業体

■ 主要人材の能力担保

■ 研修・教育等の考え方と実施方法

「地域に根ざした個性ある文化の創造に寄与するため」という横浜市区民文化センター条例を理解し、常に利用者の立場に立って業務に当れるよう、共同企業体各社のノウハウ・人材を活用して各種研修を充実し、「年間研修計画」に基づき実施します。具体的には、館長以下全員の必修の全体研修は月1度の休館日等を利用し、年2回程度実施。また必要があれば、積極的に外部への見学・研修参加を行います。

教育は業務から離れて実施するこれら外部研修のみではなく、業務を遂行する中で実施する実地教育（OJT）を日々継続的に行なう中で「生きた知識」が身につきます。これら実地教育は、施設の運営ノウハウや多岐にわたる施設業務を標準化した「業務マニュアル」を活用することで、充実したスタッフの育成を推進し、継続的にスタッフ教育を実施することで質の高い施設運営に活かしていくとともに、その内容も利用者からのご意見を反映し、常にその水準を維持してまいります。

A. 研修

- ① 接遇研修…接遇は、利用者の満足度の向上や好感度に直接つながります。子ども、高齢者や障がい者など利用者に合わせて様々な対応が出来るよう、事例を元に実践的な研修を行います。
- ② 業務研修…年2回の集合研修以外に、日常業務を通じた教育と毎日のミーティング等で実施します。「苦情の処理」などその日の事例を報告するとともに、対応方法について意見を交換します。
- ③ 個人情報保護の取扱いについての研修…P-MARK研修教育プログラムに基づき、個人情報の取扱い方を習得させるほか、ITセキュリティについても学びます。また横浜市個人情報の保護に関する条例に基づく刑罰の内容や民事上の責任等にかかわる研修も実施します。またマイナンバー（社会保障・税番号制度）に対する正しい知識を習得させ、利用者が身分証として個人番号カードを提示されても、正しい取扱いを行なえるようにいたします。
- ④ 救急救命研修…全職員がAEDの操作を含む普通救命講習・上級救命講習などを定期的に受講し、救命講習修了者常駐施設を目指します。
- ⑤ 防災・減災研修…防火防災訓練（火災、通報、消火）を通じ消防設備等の位置、使用方法を再確認するとともに、緊急対応マニュアルに基づき、実地での防災訓練等を実習し、消防計画および避難行動計画の確認を行ないます。
- ⑥ 災害時対応研修…交通遮断時、地震・津波等発生時、帰宅困難者一時滞在所開設時の行動計画の確認。備蓄品の棚卸し等。
- ⑦ 人権研修…当グループの人権（ハラスメント・人権啓発）研修を受講、啓蒙することで、明るい施設を目指します。
- ⑧ 舞台技術研修…舞台技術に関わる専門的な機器の操作法やその効果などを研修します。

B. 導入教育（新人採用時研修）

- ① 基本研修…区民文化センター条例、指定管理者制度や区政運営方針などを紐解き、当施設が期待される役割を習得します。そのうえで心得、マナーの習得をいたします。
- ② 基本業務研修…館での業務に必要な手続き、知識・技術の習得をいたします
- ③ 港南区民文化センターの施設の概要や、様々な機器類、予約管理システムなどの操作方法等を習得します。

団体名

京急グループ共同企業体

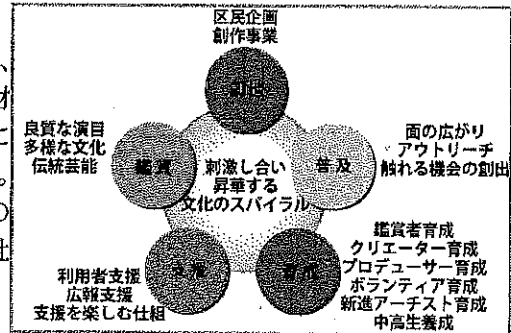
9 文化芸術の鑑賞、創作活動の機会の提供

1/4

ひまわりの郷の音楽ホールは、利用される方にとって音響的に素晴らしいと評判なクラシックホールとして位置づけられています。鑑賞型事業については、その特性を活かしたクラシック音楽をメインに据えながらも、ジャンルにとらわれない多彩な文化芸術を提供してまいります。

また鑑賞型事業以外にも、体験・参加・学習事業、共催事業、区内の文化芸術団体との交流事業、港南文化芸術を支える人財育成などを柱として実施することで、それぞれの事業が相互に刺激し合い昇華する「文化のスパイラルの実現」を目指します。

子どもは、京急沿線で行なってきた、さまざまな街づくりの経験を活かし、京急グループの流通、サービス、広告等の各社が連携し、港南区民の文化創造のお手伝いをしてまいります。



達成目標

- 地域文化の拠点として文化情報の発信基地になります。
- 幼児から熟年層までの幅広い世代が楽しみ、また区民ニーズに応じた多彩な文化事業を開催してまいります。
- 文化に関する相談窓口を設置していつでも相談できるシステムを構築してまいります。

協働の効果・貸館とのバランス

区民協働事業における効果

文化芸術の鑑賞機会や創作活動の機会の提供にあたっては随所に区民協働の考えを取り入れてまいります。

- (1) 区民の生活に密着した地域行事との連携をはかることで、区民文化センターがより身近な存在となることを目指します。また事業実施のタイミングを地域行事や上大岡駅周辺商圏のスケジュールと連携する事により、相乗効果を生むことを目指します。
- (2) 港南区内で活動している管弦楽団や国際交流協会等の文化団体と連携したプログラムを企画し広く周知を行うことで、地域での文化芸術活動の活性化に寄与してまいります。
- (3) 音楽ルーム・練習室を利用する団体の発表の場の提供と、機会の少ない若手アーティスト、ハンディキャッパーを積極的に発掘し、発表の場を提供する共催事業を企画。新たなアーティストの育成、支援を行なってまいります。またこれらの事業により、同時に区民に鑑賞の機会を低コストで提供することにもなり、発表者、鑑賞者相互に文化芸術を享受し、啓発・育成する機会の創出に繋がってまいります。
- (4) 区民文化センターの事業計画と主旨やベクトルが合致している地域の事業企画と連携し、共催事業として取り上げ施設提供を行うことで、あらたな鑑賞の機会を低コストで区民に提供してまいります。

自主事業と貸館事業のバランス

貸館は利用者へのサービスや収入の確保の面からも重要な業務ですが、一方自主事業にとっても日程を早期で確保していくことは、出演者の調整等の面からも重要なポイントとなっています。この自主事業と貸館を土日・祝日利用のバランスを考慮しながら併存して行くため、子どもは特に利用頻度の高い土日等のホールを使用しての自主事業におきましては、グループ本社スタッフの応援の動員をかけることにより、短時間での撤去設営を実現し、昼間と夜間で全く違う2つの鑑賞事業を可能にすることで、限りある土日・祝日を有効に活用してまいります。

団体名

京急グループ共同企業体

9 文化芸術の鑑賞、創作活動の機会の提供

■ 多彩な文化芸術の鑑賞機会の提供

ユニバーサルサービス提供方針のもと、より多くの方々に鑑賞する機会を提供するターゲット別事業を展開してまいります。

(1) 成熟した鑑賞者向けとして海外のクラシック音楽家、日本の著名なクラシック音楽家による鑑賞の機会を提供いたします。

①現在開催している、オアシスコンサート(春、秋に開催する3公演シリーズ(全6回))を継続して開催してまいります。

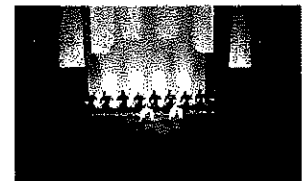
②平日のホール空きコマを活用し、新規事業のアフタヌーンコンサート(年配者ターゲットの安価なクラシックコンサート)を開催いたします。

③平成29年度は20周年事業として、日本の著名な音楽家のリサイタルを開催いたします。



(2) 日本文化の伝承は、国際交流における日本人のアイデンティティ確立に必須と考え、日本の古典芸能を身近に体験する機会を創出し、鑑賞を通して、その魅力を認知する企画構成といたします。

○現在開催している、ひまわり紀行(落語・三味線、箏コンサート・能など)を引き続き、年2回開催いたします。



(3) 0歳から入場ができ、子育て世代が気兼ねなく楽しめ、子ども達の鑑賞教育となり、かつ成人の鑑賞にも堪えうるクオリティの様々なジャンルの(クラシックを中心に)コンサートを開催いたします。

○現在開催している、ウェルカムキッズ(クラシックを中心としたピアノ・ヴァイオリン・サクソフォン等のコンサートや太鼓・三味線・篠笛等の邦楽コンサート)を引き続き、偶数月に年6回開催いたします。



(4) 区民参画協働企画として、小学生とその保護者を対象に港南区の管弦楽団と協働でオーケストラを組み、コンサートを開催いたします。

○現在開催している、ひまわり子どもミーツオーケストラを引き続き実施し、区内の小学生を対象にコンサートの鑑賞だけではなく、鑑賞マナーの向上や楽器紹介、指揮者体験などを通じて、オーケストラの素晴らしさを体験していただきます。



■ 多様な文化芸術の創作活動の機会の提供

自らが文化芸術活動に参加できるさまざまな機会を区民へ提供してまいります。

(1) 自らも体験するワークショップ型事業。幼児から大人まで創造の楽しさを感じ取っていただけます。

○音楽ルームで展開する45シアターと銘打った、リトミック体験やハロウィンパーティー、工作教室など幼児を中心とした体験事業。墨彩画講座等の成人向け各種講座や三味線ワークショップなどを開催いたします。



(2) 区民対象に参加型ワークショップ、及びその達成の喜びを分かち合う発表会を開催してまいります。

○オペラワークショップ(20回以上)・手話ワークショップ(3回)・器楽ワークショップ(10回以上)を開催し、それぞれ発表の場を提供いたします。



(3) 過去5年間行なってまいりました、ひまわりファミリーミュージカルを引き続き開催いたします。

○一般公募した大人から子どもまでの方が、本番に向け約20回の歌の練習を重ね、発表会としてプロの出演者との共演で「合唱」と「ミュージカル」の二部構成の作品を作り上げ上演してまいります。



団体名

京急グループ共同企業体

■ 文化芸術の創作活動の機会の提供

(4) 障がい者の方に発表の場・鑑賞の機会、作品発表会を提供してまいります。

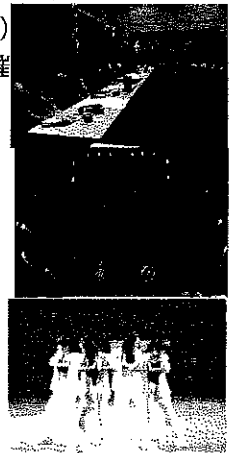
①聴覚障がいをもたれた方を対象に、手話のミュージカルやワークショップを従来から展開しておりますが、本年4月に神奈川県手話言語条例が施行されたのを受け今後更に手話の普及に寄与していくため、引き続き手話ミュージカル・手話ワークショップを発展し開催してまいります。

②館あげでの夏のオープンデーひまわりサマーフェスタにおいて、地域活動支援センター・地域活動ホーム、就労移行や継続支援施設、中途障害者地域活動センターや各種社会福祉法人などと協業の「障がい者地域作業所作品発表会（即売会）」も引き続き開催してまいります。



(5) 区民文化センターの運営課題として次世代育成の必要性がありますが、学生(中高生)と施設との距離を縮め、活動への参画を促していくために、指定管理当初から開催している高校生主体で企画運営したダンスコンテストを継続いたします。

○ KOUNAN STREET DANCE CONTEST (KSDC) は平成18年度より高校生主体運営で開始し、今春で9回を数えた当事業は、出場参加者は港南区内はもとより神奈川県全域の高校に広がり、昨年度は運営側に携わる実行委員が5校69名、参加応募グループ数は46組(参加校は17校)にまでのイベントに成長しました。地域での認知も進み、入賞したチームは、その後地域でのイベントなどに出演するなど、港南区固有の文化として成熟の端緒に付こうとしております。また平成24年度からは、この高校生実行委員が運営の「小中学生の部」も開催を開始して、好評を博しております。



(6) 新たに28年度より準備を開始し、音楽ルームや練習室利用が主で発表の機会が少ないお客さまを対象に、発表会形式のリサイタルを29年度より開催いたします。実施にあたっては出演者との打合せを密に行い、将来的には出演されるお客さま自らが舞台制作から裏方までこなせるよう、運営の手順や舞台関係のノウハウをアドバイスしてまいります。

■ 各年度の事業概要

平成28年度(2016年度)

ホール鑑賞事業/オアシスコンサート8回・ひまわり紀行(日本文化の伝承)2回・その他事業3回
ウェルカムキッズシリーズ年6回・45シアター(音楽ルーム)年6回・区民参画協働企画7回
アウトリーチ事業5回・プラットフォーム事業3回 参加者達成目標 11,000人(H26 10,363人)

平成29年度(2017年度)

開館20周年事業と銘打ってクラシックコンサート等を取り入れた年間プログラムを展開
ホール鑑賞事業/オアシスコンサート9回・ひまわり紀行(日本文化の伝承)2回・その他事業4回
ウェルカムキッズシリーズ年6回・45シアター(音楽ルーム)年6回
区民参画協働企画8回(音楽ルーム・練習室利用団体に発表の場を提供)・アウトリーチ事業5回
プラットフォーム事業3回 参加者達成目標 12,000人

平成30年度(2018年度)

ホール鑑賞事業/オアシスコンサート8回・ひまわり紀行(日本文化の伝承)2回・その他事業3回
ウェルカムキッズシリーズ年6回・45シアター(音楽ルーム)年6回・区民参画協働企画8回
アウトリーチ事業7回・プラットフォーム事業3回 参加者達成目標 11,500人

団体名

京急グループ共同企業体

9 文化芸術の鑑賞、創作活動の機会の提供

4/4

■ 各年度の事業概要

平成31年度(2019年度)

ホール鑑賞事業/オアシスコンサート8回 ・ひまわり紀行(日本文化の伝承)2回 ・その他事業3回
 ウェルカムキッズシリーズ年6回 ・45シアター(音楽ルーム)年6回 ・区民参画協働企画8回
 アウトリーチ事業7回 ・プラットフォーム事業3回 参加者達成目標 11,500人

平成32年度(2020年度)

ホール鑑賞事業/オアシスコンサート8回 ・ひまわり紀行(日本文化の伝承)2回 ・その他事業3回
 ウェルカムキッズシリーズ年6回 ・45シアター(音楽ルーム)年6回 ・区民参画協働企画8回
 アウトリーチ事業9回 ・プラットフォーム事業3回 参加者達成目標 11,500人

■ 平成28年度文化事業の具体的な企画

企画名	時期・期間	企画概要	経費見込み(千円)
オアシスコンサート (成熟した鑑賞者向けのクラシック)	4月	仲道 郁代ピアノ・リサイタル	706
	5月	レジス・パスキエ ヴァイオリン・リサイタル	
	6月	趙静(チョウチン) チェロ・リサイタル	
	9月	プラハ・ガアルネリ・トリオ	
	10月	ルートヴィヒ・チェンバー・プレイヤーズ	
	12月	バロック・アンサンブル	
	5月	アフタヌーンコンサート	
ウェルカムキッズ (0歳児から入場できる親子向けコンサート)	11月	アフタヌーンコンサート	900
	4月	ピアノ・ヴァイオリン コンサート	
	6月	サクソフォン コンサート	
	8月	太鼓コンサート	
	10月	フルート&ハーブデュオ	
45シアター	12月	親子で楽しむクリスマスコンサート	660
	2月	7名編成のオーケストラ	
	5月	リトミックシアター	
	7月	墨彩画講座	
	9月	工作教室	
	10月	ハロウィンパーティー	
ひまわり紀行	1月	正月遊び	650
	3月	工作教室	
区民参画協働企画	8月	落語	3,520
	1月	伝統芸能集団「和力」	
	5月～10月	器楽ワークショップ	
	8月	手話ワークショップ	
	9月～3月	オペラワークショップ	
	7月	こども・ミーツ♥オーケストラ@ひまわりの郷	
	9月	邦楽ワークショップ発表会	
その他企画	3月	ファミリーミュージカル	2,300
	3月	KOUNAN STREET DANCE CONTEST	
	8月	夏休みひまわりサマーフェスタ(全館使用)	
アウトリーチ事業	8月	障がい者によるミュージカル	100
	12月	クリスマスJAZZコンサート	
プラットフォーム事業	年5回	要望に応じて選択	委託
	年3回	区内の小学校でのプログラム	

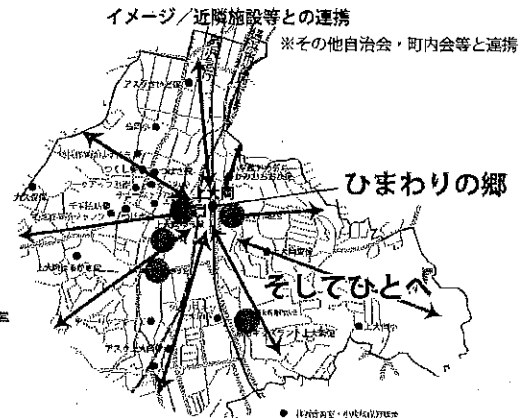
団体名

京急グループ共同企業体

10 地域コミュニティの形成・社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の推進

館からまちへ、そして人へ

基本的な考え方



来館されるお客さまの多様な障がい(視聴覚、歩行)に対応した鑑賞サポート態勢を整えることは責務としてすでに行なっておりますが、今後は障がい、高齢、疾病、失業、低所得など、さまざまな要因から、社会との関わりが持ちにくかったり希薄になってきている港南区の方々へのサポートが課題であると感じております。障壁があることを個としての違いであると考え、その「違い」から生まれる感性溢れる表現の創造性と自己表現などに繋がっていくことのお手伝いが、区民文化センターにできたならば、その可能性は大きいとも考えます。

私どもは、港南区全域を対象とした区民の社会参加の様々な機会づくりの第一歩として、地区センターなどの港南区内の様々な地域施設との連携を強化、促進するとともに、各種学

校、商業組合・施設などと交流を図るための体制づくりを進め、区民文化センターが、地域の「芸術」の拠点であると同時に、地域における身近な施設であることを港南区全体へアピールいたします。来館者にとどまらず多くの区民との接点を増やしながらか地域の「仲間作り」を広げていく。そんな地域の活性化へつなげる取り組みを、指定期間に留まらない継続性をもった事業運営として進めてまいります。

事業概要

港南公会堂、社会福祉協議会や地区センター・コミュニティハウスなどの地域施設との連携を進める中で、区民文化センター自体も交流を図るための体制づくりを進め、近隣の保育園や幼稚園、小中学校や高校・大学、自治会・地域ケアプラザ・区民活動支援センターや商業組合・施設などとそのノウハウを蓄積し、各地区センターと情報交換を行うことで、その交流の精度を上げるとともに、各地区センター間の連携も深めるものにします。

平成 28～29 年度「始動～定着期」とし
 1) 地区センター等との連携と協働体制作り
 2) 近隣教育機関等との連携と協働体制作り
 3) 地域事業への参画希望者の掘り起こしと育成等を基本に、積極的に丁寧なアウトリーチの実施で、以後に繋がるものにします。

地域コミュニティの形成・社会的包摂の推進のための
 情報収集・意識醸成・体制構築・人材育成期



平成 30 年度～32 年度「成長～成熟期」とし
 1) 連携と協働体制のネットワークの拡大
 2) 近隣教育機関等との連携と協働体制作りの拡大
 3) 区民全体の人材活用と交流の促進等を基本に、様々な区民の顔が見える連携を進め、区民自らの事業参加を目指すものにします。

地域コミュニティの形成・社会的包摂の推進のための
 情報発信・意識発露・体制強化・人材活用期

団体名

京急グループ共同企業体

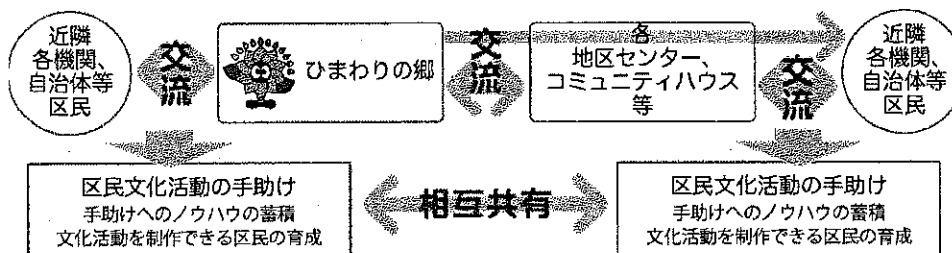
平成28年度、29年度「始動～定着期」の取組方

1) 地区センター等との連携と協働体制作り

港南公会堂、港南区社旗福祉協議会、地区センター、コミュニティハウス、スポーツ会館へ訪問・交流・事業制作の手助け等を足がかりに、定期的なリサーチ・情報提供等を行うことでネットワークの強化を図ります。付近教育機関、自治会、商店会等へ、各地区センターを通しひまわりの郷・各地区センターが区民文化活動に対し出張サービス等協力する用意があることを再認識させると共に、その展開の中で団体・区民とのコミュニケーションを図り、区民自らの手による文化活動の担い手の発掘・養成を目指します。 ※高校生・大学生への取組では全区でのアプローチを展開します。

2) 近隣教育機関、自治会、商店会等との連携と協働体制作り

小学生への学校プログラムにとどまらず、保育園・幼稚園や中学校等へも芸術文化教育プラットフォーム事業を行う等交流を深めると共に、近隣自治会、商店会、障害者地域作業所等も含め、ひまわりの郷が区民文化活動に対し出張サービス等協力する用意があることを再認識させると共に、その展開の中で団体・区民とのコミュニケーションを図り、区民自らの手による文化活動の担い手の発掘・養成を目指します。また、その展開で得た情報やノウハウ等をデータ化し、他地区センター等のものと共有し内容の向上を図ります。



3) 地域事業への参画の促進

上記における団体・区民の文化活動の担い手の発掘・養成と共に、全区に向け地域事業への参画を意図されている方を対象に、区民文化活動の担い手育成講座や文化活動ボランティア公募の実施をともなう事業展開をする等、区民文化活動の機会の創出と参加意識の醸成を図ります。

平成30年度～32年度「成長～成熟期」の取組方

1) 地区センター通じた更なる連携の拡大

協働事業展開を通じて地区センター等を中心としたネットワークによる付近教育機関、自治会、商店会等との連携体制作りを進め、施設へのリサーチ、人的交流を深め、協働促進のための情報作り・提供を行います。

2) 近隣教育機関等との連携体制作りを拡大と協働

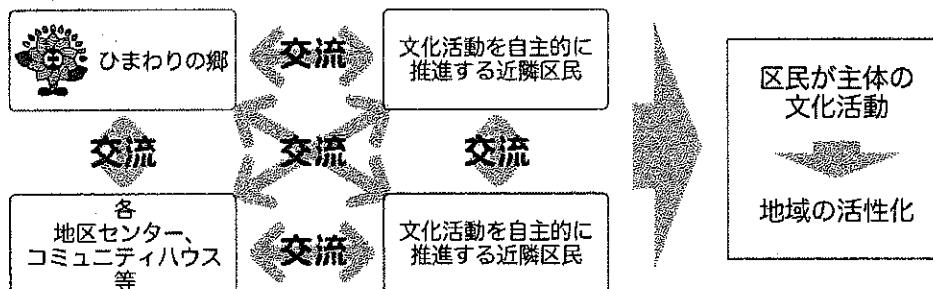
事業展開を通じて保育園・幼稚園、小学校や中学校等との連携の場を広げると共に近隣商店街、自治会への連携を深め、各施設へのリサーチ、人的交流を深め、協働促進のための情報作り・提供を行います。

3) 区内教育機関等を含めた区民全ての人材活用と交流促進

1)における展開を通し、地域事業への参画を意図されている方へのアプローチを深め、区民主体の事業展開を念頭においた人材の育成、交流の促進を目指します。

4) その他

事業展開を通じて高校生以上対象の取組でも、連携の場を広げると共に、各施設へのリサーチ、人的交流を深め、協働促進のための情報作り・提供を行います。



団体名

京急グループ共同企業体

事業例

1) 地区センター等との交流

1. リーフレット・チラシ等による定期的な情報の提供と訪問を含めたりサーチなどで人的交流を深めます。
2. 地区センター等への出張サービスやプロモート業務の代行等、事業制作の手助けを行うことで、付近教育機関、自治会、商店会等との親交を深め、各団体・区民へひまわりの郷・各地区センターが区民文化活動に対し出張サービス等協力する用意があることを再認識いただきます。

2) 近隣保育園・幼稚園等保育施設との交流

1. 音楽・演劇鑑賞会等の共同開催の提案
※合同開催による経費削減とプロモート業務の代行等、一般参加も検討
2. 連合絵画・書道・作品展等への誘致
※自主事業としての合同展、もしくは作品の一括受領や返却
3. スタッフによる出張授業や物品の頒布
※音楽鑑賞や工作教室の出張授業や工作アイテムの実技指導やデータ配布、物品の有償頒布等

3) 近隣小学校・中学校・特別支援学校との交流

1. 音楽・演劇鑑賞会等の共同開催の提案
※合同開催による経費削減とプロモート業務の代行等、一般参加も検討
2. 連合絵画・書道・作品展等への誘致
※自主事業としての合同展、もしくは作品の一括受領や返却
3. スタッフによる出張授業や物品の頒布
※音楽鑑賞や工作教室の出張授業や工作アイテムの実技指導やデータ配布、物品の有償頒布等

4) 近隣商店会、自治会との交流

1. 夏祭りなどイベントへの技術協力
※制作業務、音響・照明業務等協力や出張サービス
2. 近隣商店会、商業施設や自治会が協調・参画できる自主事業の実施

5) 高校・大学との交流

1. 連合音楽・演劇・ダンス会等の開催（制作業務等の参加含む）
※合同開催による経費削減等、芸術の作り手づくりの促進
2. 連合作文・写真展等の開催（制作業務等の参加含む）
※合同開催による経費削減等
3. 学内サークルと連携した様々な文化事業の開催
※制作業務、音響・照明業務等協力や出張サービス

6) 障害者地域作業所・高齢者介護施設等との交流

1. 障害者地域作業所製品頒布のための場の提供 ※自主催事内にコーナー設置
2. 高齢者介護施設等イベント実施における技術協力 ※制作業務、音響・照明業務等
3. 障害者地域作業所・高齢者介護施設での芸術活動実施に向けてのネットワーク作り
※施設担当者等との交流、横浜市総合リハビリテーションセンター／横浜ラ・ポールとの連携

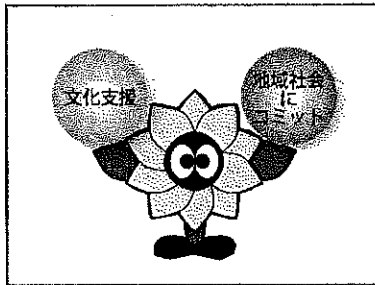
7) その他

1. 子育て世代及び乳幼児向けのワークショップ等の実施 ※講師等作り手の育成
2. 熟年・高齢者向けのワークショップ等の実施 ※講師等作り手の育成
3. 生涯学習の促進
※地区センターや自治会等にリサーチ、自主催事の指針とすると共に、企業や大学との連携を推進

団体名

京急グループ共同企業体

～ 居場所 と 出番の創設～ 地域社会にコミット



港南区民文化センターは、質の高い演目をリーズナブルな価格で提供するなど、様々な形で文化芸術支援を行ない潤いのある地域の実現にむけて運営してまいりました。

しかしながら、人口減少や急速な高齢化が進行する中で、質の高い市民生活を実現していくには、市民一人ひとりが社会のメンバーとして「居場所と出番」を持って社会に参加し、それぞれの持つ潜在的な能力をできる限り発揮できる環境整備が不可欠であると考えます。【市民協働】【市民主体の活動の支援】【地域人財育成】を、そ

の対策とされる「社会的包摂」への文化的アプローチのひとつとして捉え、より一層地域社会にコミットしてまいります。既存の社会の枠組みやネットワークから外れてしまった市民のためにあらたな複合的文化ネットワークを創設することで【居場所】を提供、また協働参画しやすい事業の創設により【出番】の提供に寄与すると考えております。

■ 市民主体の活動の支援

(1) 創作活動支援

区民文化センターを利用されるお客さまの活動に対し、以下の専門集団が助言をしております。

舞台技術：当グループ企業本社が取得した業務経験を舞台技術担当のお客さま支援の場で活用いたします。

また、管理スタッフも本社での業務に従事し、技術と広い視野の習得に日々努めております。

企画演出：当グループ企画担当の本社では、地域文化を取り入れた行幸啓の式典前演技を企画構成し、地域文化団体、教育機関と協働で作品を創り上げております。30団体1000人規模との調整や検討を行なってきた経験を利用者団体への支援に活用してまいります。

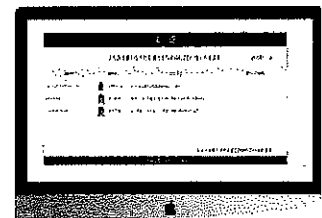
【タブレットの活用】

映像を使用し、施設の使い勝手、見え方をご案内します。

当日でなければ、確認出来なかった照明や、客席からの見え方を確認頂き、演出のお手伝いをさせていただきます。またこれらの動画は【You tube】にアップロードし当館のWEBページからのリンク貼ることでお客さまご自身も容易に閲覧が可能になります。

(2) 活動者支援

港南区内で活動されている方や団体を紹介するデータベース【港南人財バンク～まちの先生～】を活用し、団体の会員募集や、まちの先生の人財活用を促進するお手伝いをしております。



(3) 広報支援

区民文化センター内に設置しております【アドTV】では、自主事業のご案内を行なっておりますが、門戸を広げ、希望する団体の公演情報を発信してまいります。また会員募集等の交流情報を発信し、広報支援を行なっております。

団体名

京急グループ共同企業体

市民協働

■創作活動を通して

市民と共に、企画製作する文化事業を通して、市民の参画をはかり、市民と共に運営する区民文化センターを目指してまいります。また、前述しました港南区内全域の公共施設とのネットワークやアウトリーチ事業で、協働の場がこれまでの区民文化センターだけであったものから、より広いエリアに協働の場を創出し、身近に参画可能な【居場所】と【出番】を実現してまいります。

事業概要

(1) 港南ストリートダンスコンテスト（以下KSDC）

高校生実行委員会との協働でダンスコンテストを引き続き実施いたします。

平成27年度で10回目となるKSDCは、高校生の実行委員会と区民文化センターの事務局との協働で制作される小中学生のダンスコンテストです。

高校生の実行委員会は、実行委員会に応募してきた高校ダンス部を中心に構成され、コンテスト概要の企画から、当日の運営迄を制作しています。

開催は1日の準備と2日間の本番日(1日目 小中学生部門、2日目 高校生部門)からなり、小中学生部門の運営は、高校生実行委員が裏方として、受付、楽屋運営、進行、記録、司会を行っております。各校ダンス部が主体となっており、その経験は順次下級生に受け継がれ近年では、運営のレベルも大きく向上しております。

区民文化センターの活動において、高校生の参画は大きな課題でありましたが、毎回70名近い実行委員会への参加と約80名の出演者、小中学生出演者80名、観覧者500名 計約730名もの事業への参画がなされました。

定期的開催される会議への出席と本番運営を通して、区民文化センターとの距離を縮め、施設の理解を深めることが出来ました。

裏方としての業務は、一つの事業を実施するために必要なリソースを理解し、プロの演出、運営スタッフとの協働により、心構え、技術を伝承出来る現場体験と考えます。

表現者として、舞台上立つ事から、表現者を輝かせる裏方の魅力を発見して貰うことは、将来の職業選択の一助となり港南文化発展の礎になると考えます。

(2) 区民ミュージカル

NPO法人 横浜シティオペラとの協働により、区民ミュージカル公演を実施いたします。

これは公募による合唱団を編成し、年間20回のワークショップを経て公演に至るものであり、NPO、区民との協働は、新たなネットワーク、参画の機会創出を企図し、将来的には創作区民音楽劇公演を目指しているものです。

(3) 事業公募

公募にて区民文化センターの自主事業を実施します。

定期開催している45シアター(45名規模・体験型事業)の事業企画を区内公募し、協働の機会を創出します。選出から漏れた企画に対しては、助言をし次回公募へのお手伝いをししてまいります。

団体名

京急グループ共同企業体

11 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人財育成

3/3

■ 市民協働

■ スタッフとして

(1) カルチャースタッフとして

港南区、近隣在住の女性を対象に文化活動経験・知識を有する方を公募選定し、窓口サービス業務に配属します。

文化活動での経験・知識を活かし、窓口相談、情報提供を区民目線で実施してまいります。また運営管理業務への積極的な提言を得て、多様な評価による運営改善の一助とします。

(2) ボランティアスタッフとして

区民ボランティアを公募により組織化し、自主事業や運営業務に参加していただきます。

事前スタッフ研修では、消防法、個人情報保護法、著作権法等の業務に関する法令や、危機管理、接客マナー、文化事業毎の制作運営知識の講習を行います。

業務内容は、レセプション業務を中心に、運営業務では、利用者の運営サポートや、緊急時の誘導等にあたり、職員と協働で区民文化センターの運営を支えていただきます。

(3) 区民プロデューサーとして

後述する育成講座を経て、実務の場を提供いたします。

区民文化センター主催事業の企画、運営に参画し制作者としての経験を積んでいただきます。

将来的には、区内施設へのアウトリーチ事業のプロデューサーとして参画し、各所のボランティアスタッフとして港南区全域への文化普及の担い手として活躍していただきます。

■ 地域人財育成

支援を楽しむ人財を育成し、ボランティア活動を区内全域に創出するお手伝いをいたします。

(1) 区民プロデューサー講座

事業制作者を育成する講座を年間2回、各5日間、毎年継続開催し、人財の拡充に努めます。講座修了後は、区民文化センターでの事業に参画し、講座での成果を活かしていただきます。

【参画事業イメージ】45シアター、アウトリーチ、KSDC など

(2) レセプション業務講座

京急グループの持つホテル、百貨店、ショッピングモール等の接客ノウハウを活用し、レセプション業務研修講座を開催いたします。

研修後は、自主事業のレセプション業務にボランティアとして参画し、文化事業を表方として支え、事業を成功に導く喜びを通して、支援を楽しんでいただきます。

(3) 舞台技術講座

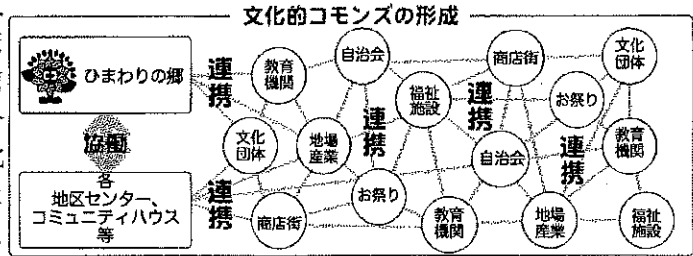
区民文化センターにおいて公演を行なっている地域団体の多くは、舞台技術全般を私どもスタッフに一任するケースが過半を占めております。これら利用者団体の方を対象に、舞台・照明・音響の技術講座を開催いたします。当講座では、安全な操作方法、照明効果や音響効果、舞台演出の手法を学習し、安全・安心な舞台製作と完成度の高い舞台演出を目指してまいります。

団体名

京急グループ共同企業体

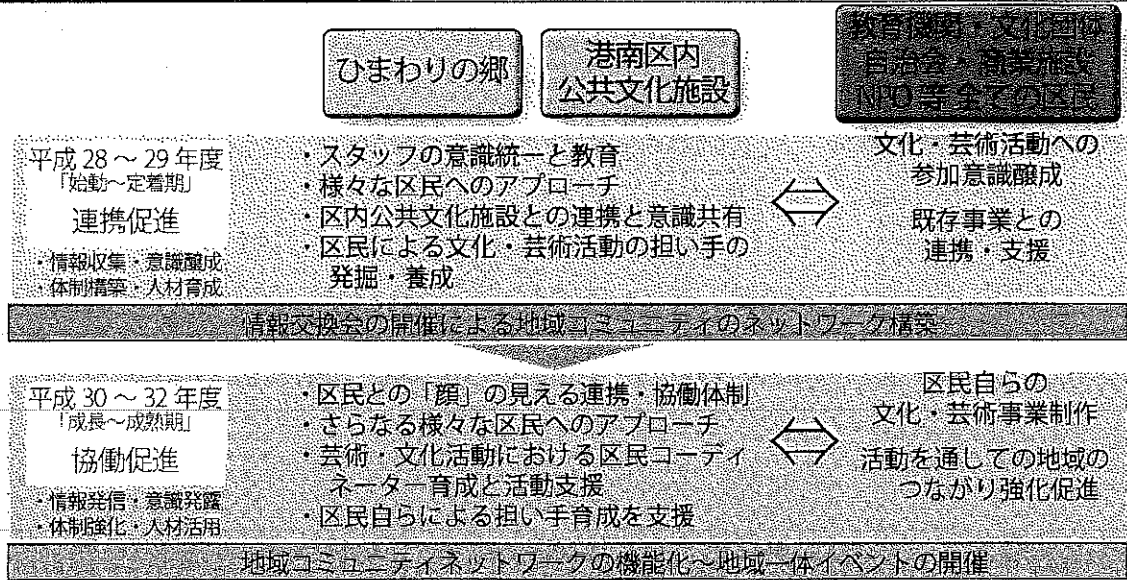
地域コミュニティのネットワーク構築 ～人々が集い、つながりを持てる場所を目指して～

文化的なつながりを求めて港南区民が集まり、文化・芸術による共感を得られる拠点として「ひまわりの郷」を位置づけ、教育機関・文化団体や自治会・商業施設等地域コミュニティのネットワーク構築のための接続点となり、地域における文化の担い手作りを進め、文化による次世代育成と地域社会の活性化の一助となるべく、公共施設、団体と協働して、文化的コモンズ形成のコーディネーターを担っていこうと考えています。



文化による次世代育成と地域社会の活性化

文化的コモンズ形成の流れ



文化による次世代育成と地域社会の活性化

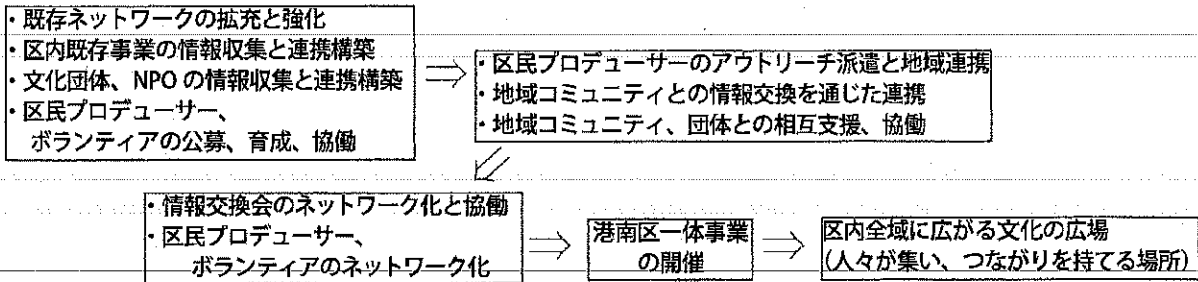
文化・芸術活動における区民コーディネーターの育成と活動と区民自らによる活動の担い手の育成が、文化・芸術活動を通じて

- 1) 地域のつながりを深め、心のつながりや相互理解を尊重する土壌をつくり
- 2) 他者と共に社会を形成する地域を構築し

地域社会の持続可能性をもたらすものだと考えます。

地域社会の持続可能性は文化による次世代育成がもたらすもの

事業イメージ



団体名

京急グループ共同企業体

■ 文化的コモンズ形成のために

文化的コモンズ形成のための以下の施策を進めます。

1) 従事スタッフの意識統一と教育

文化・芸術の専門機関としての事業展開を通じ、教育・福祉・まちづくりなどの幅広い分野で区民と連携すべく積極的な地域への働きかけを行うための意識統一・教育を行います。

- ・「館からまちへ、そして人へ」の意識徹底
- ・ボランティア精神の啓発
- ・文化・芸術における拠点として「ひまわりの郷」が専門機関であることの意識徹底

2) 様々な区内既存事業との連携

これまでの区民との連携は、ともしれば依頼待ちの事業展開でしたが、広範な区民・NPOとの連携を念頭に置き、既存事業への積極的なアプローチと支援、協働を行い、様々な区民、団体、NPOとのネットワーク構築を目指します。

港南区においては、様々な団体が各種の事業を展開しておりその評価も高く継続的に実施されており、ひまわりの郷との連携は徐々に増加の傾向にあるものの、連携率が高いとは言えません。特に商店会やNPO、実行委員会との連携は少なく、協働の余地も多いと考えます。

例えば、地域活性化イベント【ひまわりフェスタ】は港南区のシンボルである3万本のひまわり育成と鑑賞イベントとして上大岡駅周辺で開催されており、区民文化センター屋上にかつて設置されていた「ひまわりの庭園」を復活させる事で、イベントとの連携が可能ではないかと考えます。

この庭園は、パブリックアートとして設置されており、前述したパブリックアートイベントの併催も可能と考えます。

- ・区民文化活動への出張サービスの充実
- ・プラットフォーム機能の充実

3) 公共施設・団体との連携と意識共有

各地区センター等と積極的に交流を図り、文化的コモンズ形成のための意識共有を働きかけるとともに、事業展開を通じネットワーク構築を図ります。

- ・公共施設へのアウトリーチと協働事業
- ・公共団体との情報共有を通じたネットワーク構築

4) 区民自らの手による文化・芸術活動の担い手の発掘・養成

区内公共施設との連携を含め、幅広い分野で区民、NPOと交流を持ち、地域の文化・芸術活動の担い手としての人材の発掘・養成を図ります。

- ・プラットフォーム事業等を通じて
- ・アウトリーチを通じて
- ・文化・芸術活動の担い手講座の実施と実践活動

5) 顔の見える・機能的なネットワーク構築

ひまわりの郷との各ネットワークを相互に連結し、機能しあえる、顔の見える連携を目指します。

ひまわりの郷はネットワークの接続点として貢献し、拠点施設として利用していただきます。

- ・定期的な、情報交換会の開催と事務局業務を担う
- ・区内事業の情報共有
- ・既存事業への相互支援、協働

6) 福祉的なアプローチを研究

福祉施設との連携は、多くの課題や知識を必要とされており、専門的な知識の吸収・情報収集のため「社会福祉法人横浜市リハビリテーション事業団 横浜市総合リハビリテーションセンター」及び「障害者スポーツ文化センター横浜ラ・ポール」に協力をお願いします。

窓口スタッフ：横浜市総合リハビリテーションセンター センター長 小川 淳氏

※上永谷のよこはま港南地域療育センターも横浜市リハビリテーション事業団の施設

団体名

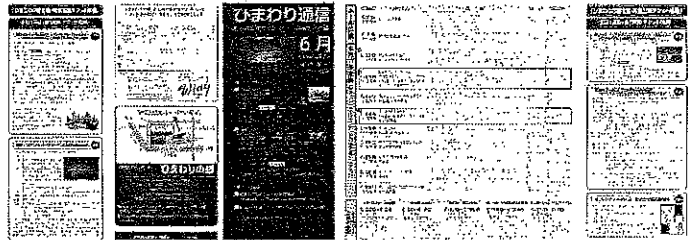
京急グループ共同企業体

■ 各種媒体によるプロモーション活動

「ホール公演」や「ギャラリー」の催し物の予定や、館自らの主催や共催の公演予定、チケットの発売情報を施設広報誌「ひまわり通信」(毎月発行)やひまわりの郷WEBページ(随時更新)など以下の各種媒体を活用して、港南区民の皆さまに情報の提供、広報活動を展開してまいります。

■ ひまわり通信(施設広報誌)

ご利用のお客さまから承諾をいただいた「ホール公演」や「ギャラリー」の催し物の予定や、館自らの主催や共催の公演予定、チケットの発売情報、休館予定日などを掲載し毎月4000部発行いたします。区内外の各公共施設はもとより京急線上大岡駅改札内やバスターミナルに設置のアドボードを始め、市営地下鉄9駅のラックにて配布しているほか、京急百貨店やウィング上大岡などの商業施設、近隣の音楽教室などにも取り置きするなどし、区民にとっての手近な広報誌として既に定着しています。



■ ひまわりの郷WEBページ「www.himawari-sato.com」

「ひまわり通信」は誌面の都合で当月の催事情報に限られますが、それをWEBページが補完いたします。催事情報やチケット情報はもとより、館の施設の概要、利用方法や料金の細目、さまざまな割引制度、館へのアクセス方法など、ひまわりの郷を利用されるお客さま目線でのご案内を展開いたします。また、共同企業体が港南区へ対して毎年提出している各年度の事業の計画書や報告書についてもWEBページに掲載いたします。



■ SNS(フェイスブックページ)「https://www.facebook.com/420823124733728」



あらゆるモノがインターネットに繋がり、WEBはもはや仮想空間として独立して存在するものではなく、スマートデバイスによって人々を取り巻くあらゆるメディアが繋がる時代になっています。現在、フェイスブックにて公演情報等を告知等で運用をしておりますが、今後は双方向性を活かし、活用範囲を広め、事前パブリシティ、事後パブリシティを充実し区民と文化芸術におけるネットワークづくりに活用してまいります。

ソーシャルメディアポリシー

公式アカウント運営において遵守すべき姿勢・行動につき、以下のとおり定めます。

基本ポリシー

ソーシャルメディアに参加するにあたり、公式アカウントを運営する当館スタッフは良識ある社会人として、常に自らを律し、お客さまとの質の高い文化芸術コミュニケーションの実現を目指します。

メディア特性の理解と心構え

ソーシャルメディアで発信した情報は不特定多数のお客さまがアクセスできること、一度発信した情報は完全には削除できないことを理解しその運用にあたります。また常に傾聴の姿勢を忘れず、ひまわりの郷としての自覚と責任を持った行動を心がけます。

フェイスブックをご利用のお客さまへ

ひまわりの郷の公式アカウントから発信する情報には細心の注意を払っておりますが、正式な発表などに関しては、当館WEBサイト(www.himawari-sato.com)をご確認ください。

団体名

京急グループ共同企業体

■ 各種媒体によるプロモーション活動

■ アドTV (デジタルサイネージ)

施設内の情報コーナーに設置し、来館されたお客さまに向け、「ホール公演」や「ギャラリー」の催し物の予定や、館自らの主催や共催の公演予定、チケットの発売情報などの動画によるコンテンツを放映し、プロモーションを行なっております。コンテンツは逐次更新が可能な仕組みとなっており、タイムリーな情報発信が可能です。この媒体を活用し、会員募集、講師派遣など【港南人財バンク～まちの先生～】と連携して情報提供を行ない、利用者間交流の場を創出いたします。



■ ひまわりアドボード

グループ企業の媒体である、上大岡バスターミナル内および京急上大岡駅3階改札内のサインボードに「ひまわりアドボード」を設置し、幅広い域内来街者へ発信するサービスを引き続き提供いたします。来街者の水平導線と待機時間に直接働きかけることで、目的外の方々へ区民文化センターへの認知をはかり、新規利用者の拡充、文化団体の活動の周知の一環として、パブリシティ支援をはかります。



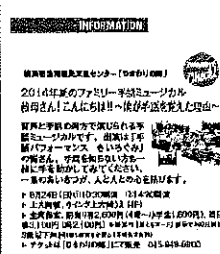
■ 京急線各駅ポスターボード

自主事業のうち大規模な告知が必要な催事につきましては、京急電鉄の協力を得て、上大岡駅を含めた横浜市内の京急線主要駅に催事ポスターの掲示を行なうことで、顧客の獲得をはかります。



■ 京急沿線広報誌「なぎさ」、京急百貨店「オーカスクラブ通信」

ハウスエージェンシーとしての利点を活かし、京急電鉄発行の駅置き沿線フリーペーパー「なぎさ」や京急百貨店会員向け広報誌「オーカスクラブ通信」などに、催事等の広告記事を掲載します。



■ TV媒体 (CATV)

大規模な自主催事やギャラリーでの展示開催の模様など、区民視聴者の多い、地元CATV局であるジェイコム南横浜への働きかけを強め、取材を積極的に受け入れ、自主放送内での放映を増やしてまいります。

■ メールマガジン

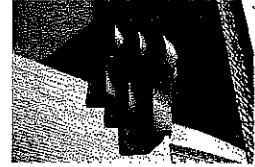
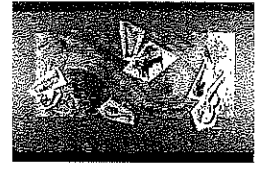
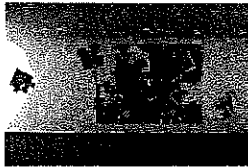
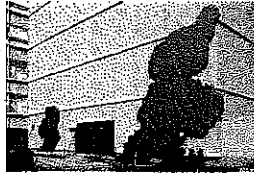
現状はお客さまのお問い合わせのための手段としているeメールですが、今後はお客さまへ対し、施設広報誌のPDF版や自主催事のお知らせ等の館側からの告知手段として、メーリングリストを立ち上げます。

団体名	京急グループ共同企業体
-----	-------------

1.5 アイデア・ノウハウの提案

■ パブリックアート再発見

港南区民文化センターのあるゆめおおおか周辺には、開館時設置された著名な作家によるたくさんのパブリックアートがあります。キーワードは「パッセージ（通過する）」で建築とあわせて制作されており、設置から 18 年が経過したいま、すっかり空間と融合しています。しかしながら、この 18 年間の月日は皮肉にもこれらアートの設置意義・主張、いきさつまでも人々の脳裏から消し去りつつあります。そこで、現在もこれらアートの管理を続けている横浜市住宅供給公社との協働で、これら作品を再構成し、パブリックアートとして区民に楽しめる仕組みをご提案いたします。



本来、他の複合施設への来街者を区民文化センターに向けて誘導することは、立地的に極めて困難であります。4 階には人気作家の作品をはじめ数多くのアートが存在していることから、誘導が可能となり、施設の認知のきっかけにもなると考えます。

(1) パブリックアート MAP の作成と配布

作品 MAP を作成し、複合施設内店舗や近隣商店街と連携して配布し、施設の館外のアートについても見学需要を喚起します。

(2) ICT を活用した作品紹介

スマートフォンの Bluetooth 機能を利用した iBeacon（アイビーコン）を設置し、見学者の所持するスマートフォンへ作品紹介をプッシュします。

■ 施設を動画配信・ご案内

現在のひまわりの郷 WEB ページにおいて施設紹介のページは存在しますが、そのコンテンツは写真や図面を中心に構成されています。これらのコンテンツからでは読み取りづらい諸室の使い勝手を動画撮影し、誰でも簡単に理解できるよう紹介いたします。これらの動画は【You Tube】にアップロードし、WEB ページからリンクを張ることにより容易に更新を可能にするとともに、受付にもタブレット等を配備。初めて来館され施設利用の相談の際に諸室が使用中で視察ができない状況でも、簡単に施設の概要が把握できます。

コンテンツ例

・インフォメーション～情報コーナー ・ギャラリー（稼働展示壁のレイアウト変更のパターンや照明） ・練習室（防音性、設備レイアウト） ・会議室（レイアウト実例） ・音楽ルーム（ピアノレイアウト、ブラインド昇降、照明・音響設備） ・ホールエントランス（正面入口～ホワイエ～入場口/パントリー等の諸設備） ・ホール客席（客席位置からの舞台の見え方、親子室） ・ホール舞台（稼働席のレイアウト、反響板） ・ホール諸設備（照明、音響、ピアノ他備品） ・ホール楽屋

■ 備品管理の電子化

港南区民文化センターは、開館後 18 年が経過し、さまざまな設備の経年劣化や交換が目立ち始めております。現在、施設の備品は帳簿（紙ベース）にて管理を行なっておりますが、これら情報の DATABASE 化をご提案いたします。

昨今、照明器具では、高熱を発するハロゲン電球の爆発事故が各地から報告されております。現時点で当館においては、お客さまに影響するような大きな事故は発生してはおりませんが、電球の破損については既に散見されています。原因は、電球自体の寿命や、製造過程での不良が主であり、これらの現象を事前に把握し、検査することが、破損や爆発防止には肝要となります。

備品類や修理箇所等について、紙ベースでの管理部分を順次データベース化することにより、予防修繕の分析を容易にし、蓄積したデータをさらに効率的かつ有効に活用します。電球等消耗品も個体ごとに納入時期・ロットをデータベース化し、交換状況を把握するとともに不良電球の同時期納品の把握が容易になり、事故を未然に防止することにも繋がるほか、各種機器の耐用年数やメンテナンス報告を反映し、日常点検を重点をしぼった効率的な点検も可能となり、さらなる効率的な備品管理を実現します。

団体名

京急グループ共同企業体

貸出業務におけるホスピタリティ

区民文化センターを利用される地域活動団体においては、催事制作経験の少ない団体も少なくありません。また、経験の豊かな団体においても初めての会場では、不明点や不安も大きく、会場管理スタッフとのコミュニケーションは催事実施において欠かすことはできません。打合せから本番まで、面識のあるスタッフのフォローは大きな安心感をもたらします。また、既利用の団体にとっても、過去に打ち合わせた担当スタッフとの面識は、スムーズな連携をもたらすばかりでは無く、より精度の高い舞台製作に結びつく過去の経験より確信しております。私どもは、施設というハードの貸し出しだけでなく、顔の見えるスタッフの対応という相互信頼と安心感、技術提案のソフトを提供してまいります。

貸館のフローチャート

貸出に関わる利用申請や利用許可については、横浜市市民利用施設予約システムをベースに下表の流れに従い運用いたします。



団体名

京急グループ共同企業体

■ 貸出業務におけるホスピタリティ

■ ワンストップサービス ～ビジュアルを使用したアドバイス～

施設の利用に関するお問い合わせは電話でも来館でも随時受け付け、視察・見学のご希望があった際にも、他のお客さまの利用状況に応じて柔軟に対応いたします。副館長、企画運営チーフは、制作、舞台技術10年以上の経験を持ち、舞台技術スタッフとのローテーションにより常駐体制を実現いたしております。窓口スタッフと共にお客様の疑問や要望に即応するワンストップサービスを実現し、施設利用実例写真や舞台効果事例写真、客席からの見え方写真、また前項でもご提案いたしました、区民文化センターのWEBページからリンクされた【You Tube】で諸室を撮影した動画等をお客さまご自身がパソコン、スマートフォン等からご覧いただき、簡単に使い勝手や様子の確認ができるようになると同時に、受付にもタブレット等を備えることで、ご自身でICT機器を扱うことができないお客さまや、施設利用の相談で来訪された際に諸室が使用中で視察ができない状況でもご確認を容易にし、安心してご利用いただけるようにいたします。

■ バックアップ体制

舞台制作において、利用者が持込んだ機材の不良や不備は決して少なくありませんし、また館に備え付けの備品だけでは対応できないケースも散見されます。当グループではこれらご利用される方のお悩みに即応できる体制を構築し、お客様の催事成功に寄与したいと日頃より考えております。グループ企業が所有する照明、音響、舞台機材や備品をバックアップ備品としてお貸し出しすることで対応してまいります。またこれら機器類は、外部催事への貸出にも対応でき、アウトリーチや他の区内公共施設へのサポートの一つとして貢献しております。

■ 利用率の更なる向上をめざして

■ ホール 利用可能コマ平均利用率 (H23年度70.3%、H24年度70.2%、H25年度69.4%、H26年度68.4%)

当館のホールについては平均すれば利用可能コマ数の68～70%の利用率となっておりますが、港南区に隣接する戸塚区で、平成25年夏に新規に開設された区民文化センターの出現で若干利用率が下がる傾向にあります。またその中身とえば、土曜休日のホール利用は、利用料金が高いにもかかわらず、「横浜市市民利用施設予約システム」の6ヶ月前抽選で当選しなければ利用できないほどの人気であり、仮に抽選後に休日日中利用に空きがある状況であったとしても、先着順申込み開始と共に、すぐに(他館の抽選に漏れた利用者から)申込みがされ、稼働は維持される状況です。一方、平日は8月、12月、3月という学校のお休み(夏休み・冬休み・春休み)を含む月以外の利用は低く、全体の利用率を上昇させていくためには、学校がある時期の平日のホール利用需要を創出させていくことが肝要と考えております。

平日(横浜市立一般小学校の休校日を除く)2階不使用本番専用席の創設

これら平日の集客にはホール利用者(主催者)自身も苦慮しており、港南区民文化センターのホールの持つ381席の需要を使い切る利用は多くはありません。そこで、私どもは中規模の催事需要にお応えするため、これらの平日に1階席(240席)のみを本番でご使用になられる場合に限り、ホール利用料金から20%を割引く制度の導入をご提案します。(準備・練習・搬出でのご利用は、すでに30%引きとなっておりますので対象外といたします)

しかしながら、平日利用の需要掘り起こしには近道は無く、港南区内の企業や学校を手始めに、文化団体、音楽サークル、劇団など、幅広い対象にホール利用の働きかけを個別に行なっていき、地道に周知と利用促進を図り続けてまいります。

団体名

京急グループ共同企業体

■ 利用率の更なる向上をめざして

ホールの終日利用割引の創設

ホールの利用については、既に2区分連続（午前+午後または午後+夜間）で予約が入ってしまっていると残りの1区分（午前又は夜間）単体では新たな予約が入らず空きコマとして消費されてしまうケースが多分にあります。そこでホールを2区分連続でご利用されるお客様に対し、残るもう1区分のご利用をご検討頂くために、新たな割引制度として、入場料を徴収しないホール利用に限りませんが、終日利用の割引を導入したいと存じます。（詳細は、様式31にて後述）

ホールの直前割引制度の継続

また予約がなされない空きコマ（利用されないまま過ぎる時間帯）を減らす努力は利用率のみならず収入面で大きな効果を生むことができます。港南区民文化センターの上大岡駅に近接するという特性を活かし、区内外のお客様に積極的にこの施設予約システムでの利用予約ができなくなる28日を切った空きコマについて、その空き情報を掲示やWEBなどを通じ積極的に公開するとともに、練習利用の需要を喚起させるために、割引サービスを継続いたします。具体的には、そもそもホールをリハーサルや練習利用する場合、入場料を徴収しない本番での料金の7割とする定めが横浜市区民文化センター条例にあります。ご利用日まで14日（2週間）以内に迫ってから、練習（客席不使用）の目的でホール利用される場合に限り、本年2月より5割引で利用ができるようにいたしており、今後もこれを継続し、空きコマの撲滅を目指します。

■ その他

音楽ルーム 利用可能コマ平均利用率（H23年度81.9%、H24年度81.5%、H25年度78.4%、H26年度74.5%）

会議室 利用可能コマ平均利用率（H23年度85.0%、H24年度84.5%、H25年度81.7%、H26年度80.8%）

音楽ルームと会議室については現状70～80%の利用率で推移しておりますが、戸塚区民文化センターの影響はあり、利用率が若干下落する傾向にあります。音楽ルームも会議室も、現在利用されている目的以外の区民利用者を発掘（例えば社交ダンスの練習場として利用してもらう等）し、利用率を現在より確実に向上させ、元の水準に戻してまいります。

このほかの施設である、練習室は広いAルームが80%台、狭いBルームが95%程度の稼働、ギャラリーも93%以上の稼働となっており、利用率は比較的安定して推移しております。ギャラリー、練習室の貸館については、現在の運用を継続し、利用率の維持に努めてまいります。

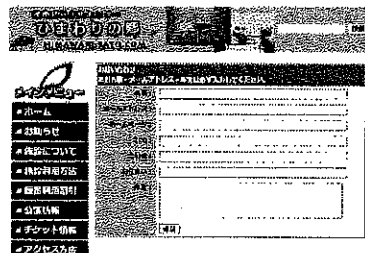
団体名

京急グループ共同企業体

17 要望・苦情への対応

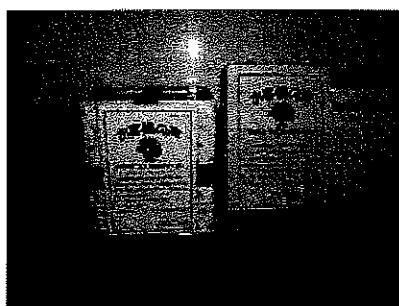
■ お客様の声

「お客様の声」として受付階のロビーに設けた利用者、来場者からの投書専用の投函箱。専用WEBサイトからのご意見メール。また所管の行政担当者へ届いた当該施設、職員に対しての様々な視点からのご意見（要望・苦情等）。これら貴重なお客様の声は、全スタッフで共有し、スタッフミーティング等で問題や改善点、改善方法を洗い出したうえで改善や見直しを図り、ご意見をいただいた利用者へ適切に対応し、説明責任を果たしてまいります。また、頂戴したご意見はロビー掲示板等で回答とともに公開いたします。その他、市民利用施設予約システムに問題が発生した案件については、速やかに行政担当者への報告を行ない、適切に対処いたします。



【専用WEBサイト】

また当施設外の近隣施設（階下複合施設等）に届いた当該施設に対しての苦情・要望等についてもビル管理事務所を通じて情報を収集し、迅速かつ適切に対応してまいります。



【お客様の声 投函箱】



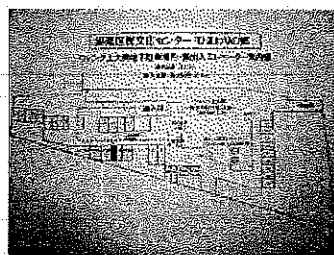
【ご意見回答書 ロビー公開掲示】

■ 近隣対策（階下複合施設等）

当施設において、近隣施設に迷惑等を及ぼすと予想される催事については事前に主催者と綿密な打ち合わせを行ない、ビル管理事務所、ビル防災センター警備担当と連携し、万全な対策を取り対応し、必要がある場合は所轄の行政機関（警察、消防等）と連携し、事前の相談や許可が必要な書類の届け出等を行ない、有効なアドバイスや指導を受け、適切に対応いたします。

また、当施設利用者（来場者）による突発的な迷惑行為等が近隣施設（階下の複合施設等）において発生した場合は、ビル管理事務所、ビル防災センター警備と連携して適切な対応を行ないます。

近隣施設（階下複合施設等）と共用使用するスペース（地下2階駐車場・荷捌き所等）では共用のルールに則り、駐車場警備担当の適切な誘導を行ない安全な作業に努めます。また、当施設で開催される催事または工事等で物品の搬入・搬出がある場合は、事前に催事主催者や工事業者と打ち合わせのうえ、ビル管理事務所に必要な手続き（作業許可届け等）を行ない、階下テナントの関係業者や一般駐車場利用者の安全に十分配慮しながら搬入出をいたします。また、入庫規格外車両（高さ制限等）による指定箇所以外（京急百貨店荷捌き所）での荷降ろし、荷積みについても、事前にビル管理事務所へ届け出をし、他の搬入、搬出者と混乱が生じないように安全で円滑な作業に努めます。



【地下2階駐車場誘導案内図】



【地下2階駐車場・荷捌き所】

団体名

京急グループ共同企業体

施設及び設備の維持保全の考え方・方針

当該施設は開業以来、当グループを含む歴代の管理者により適切に管理されてきたことから、長年にわたり大きな支障もなく施設・設備（機器含む）を使用することが出来ております。しかしながら、2期を管理してきた経験から、さらなる施設長寿命化のためには、より効率的なかつ効果的な修繕やメンテナンスを実施する時期であることも強く認識しております。

この管理経験から、当グループは経年劣化箇所及び使い勝手の悪い箇所について、十分な基礎データの蓄積があり、中長期的な施設維持管理計画を立てることが容易であると言えます。さらに、管理組合業務である保守管理業務部分も、横浜市住宅供給公社と隣接する場所に拠点を置き、施設長寿命化のための情報共有が、迅速かつ円滑に行なうことができます。

これらのことから、当グループは将来発生する費用について、計画的かつ効果的にご提案・協議を行なうことが出来るものと自負しており、事項に記載する小破修繕への取り組みも含め、将来負担が発生する費用の実質的な削減に繋がるよう、積極的に施設の長寿命化措置を講じ、安心で安全な施設を引き続き提供します。また、異常発生時は、迅速な状況把握に努め、職員による被害拡大防止に努めます。

保守管理業務・環境維持管理業務 年間スケジュール

以下の年間スケジュールにより適切な施設維持管理を行います。施設及び設備の維持保全及び管理は、関係法令及び当施設の業務基準を遵守することはもちろん「維持保全の手引き」及び「施設管理者点検マニュアル」に基づき実施します。また、常にリスク分析を行いながら、五感を働かせた日常作業を実施することにより、作業ミス及び見落としを排除し、物理的な劣化等による事故を予防します。

「設備保守点検・清掃」年間予定表

Table with columns for management tasks (e.g., 1. Hall chair maintenance, 2. Water filter maintenance) and a monthly grid from April to March for the years 2026 and 2033. Includes categories like 'Maintenance' and 'Environment'.

団体名

京急グループ共同企業体

■ 保守管理業務・環境維持管理業務 年間スケジュール

「設備保守点検・保安警備業務」年間予定表 (管理組合委託業務)

区分	管理業務内容	回数	平成28年4月1日~平成33年3月31日																
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
保守 管 理 業 務	1. 電気設備																		
	1) 電灯・動力・調光盤他分電盤																		
	・「電灯分電盤」月例点検	1回/月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
	・「動力分電盤」月例点検	1回/月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
	・「調光盤他分電盤」月例点検	1回/月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	
	・「電灯分電盤」定期点検	1回/年																○	
	・「動力分電盤」定期点検	1回/年																○	
	2) 「ITV設備」定期点検	1回/年							○										
	3) 「放送設備」定期点検	1回/年							○										
	4) 中央監視設備																		
	・「空調機」制御点検	1回/年																○	
	・「ファンコイル」制御点検	1回/年																○	
	・「ファン発停」制御点検	1回/年																○	
	・「温度計測」点検	1回/年																○	
	・「室内湿度」制御点検	1回/年																○	
	・「制御盤」点検	1回/年																○	
	2. 空調設備																		
	1) 「外気調和設備」																		
	・月例点検	1回/月			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・定期点検	1回/年		○															
	・フィルター清掃	6回/年		○		○		○		○		○		○		○		○	
	・フィルター交換	1回/年							○										
	2) 「空調機」																		
	・月例点検	1回/月			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	・定期点検	1回/年		○															
	・全熱交用フィルター清掃	6回/年		○		○		○		○		○		○		○		○	
	・ロールフィルター交換	2回/年							○										○
	・中性能フィルター交換	1回/年							○										
	3) 「全熱交換器」フィルター清掃	6回/年		○		○		○		○		○		○		○		○	
	4) 「ファンコイルユニット」フィルター清掃	4回/年								○					○				○
	5) 「パッケージエアコン」																		
	・フィルター清掃	6回/年		○		○		○		○		○		○		○		○	
	・定期点検	2回/年								○									○
	6) 「ビルマルチエアコン」																		
	・フィルター清掃	6回/年		○		○		○		○		○		○		○		○	
・定期点検	2回/年								○									○	
7) 「除湿器」フィルター清掃	1回/月		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8) 「還風機」																			
・フィルター清掃	6回/年			○		○		○		○		○		○		○		○	
・定期点検	1回/年									○									
3. 給排水設備																			
1) 「飲用水中間水槽」定期清掃	1回/年																	○	
2) 「加圧給水ポンプ」定期清掃	1回/年																	○	
3) 「電気温水器」定期清掃	1回/年																	○	
4) 「飲用水滅菌装置」次亜塩素酸ナトリウム購入	1回/年																	○	
4. 環境衛生保全																			
1) 「害虫駆除」生息点検	1回/年			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2) 「空気環境測定」	6回/年		○		○		○		○		○		○		○		○		
5. 建築設備・消防設備																			
1) 「自動扉」定期点検	4回/年																	○	
2) 「建築設備・特殊建築設備」定期検査	1回/年																	○	
3) 「消防設備」定期点検	2回/年																	○	
保安警備業務																			
1) 館内の深夜巡回 (1回/日)	毎 日		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2) 日常巡回・緊急時対応	1回/月		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

管理組合委託業務部分は、指定管理者が横浜市住宅供給公社と管理業務委託契約を締結し、その費用を指定管理者が負担することになります。また、横浜市住宅供給公社による点検結果報告は指定管理者が受け、その報告に基づき修繕計画等を立て対応することになりますので、管理組合との連携が必須であり、指定管理者の重要な業務の一つであるといえます。補足となりますが、「自動ドア」「電話設備」・「台球交換」業務は、管理組合委託業務範囲外となるため、指定管理者により適時対応することになります。

団体名

京急グループ共同企業体

19 小破修繕への取組

■ 施設・設備の現状と今後の修繕計画

当該施設はオープンから約20年が経過し、施設・設備（機器含む）の随所（空調設備、舞台機構、舞台音響設備、舞台照明設備、エスカレーター、ホール座席、ピアノ等）に経年劣化による不具合や傷みが発生してきております。

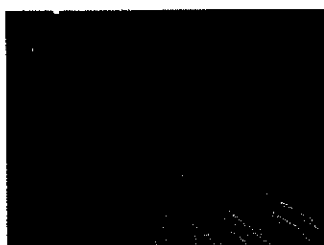
これらは、今までの設備の定期保守点検や小破修繕により、ある一定の性能を維持してまいりましたが、「施設の高い稼働率」と「設備（機器）の使用頻度の高さ」が相まって、さらに劣化が進むことが予想されます。

また、設備（機器）に故障が発生した場合、既設設備（機器）のモデルチェンジ等による生産中止により、修理部品の調達が困難になってきている状況です。

そのため、今後の定期保守点検での調整や小破修繕では修理しきれず、設備、機器が持つ、本来の性能を維持出来ないまま利用者に提供することになり、さらには万が一の事故にも繋がりがかねません。

こうした現状を踏まえ、今後、当該施設及び各設備等の長期的な修繕計画が必要であると考えます。

私ども、共同企業体は2期に亘る当該施設の指定管理運営に係わり、施設及び設備の現状を細部に亘り把握しているのはもとより、多くの文化施設、多目的施設のホールを含む改修工事、更新工事に係わり培ったノウハウを活かし、効率的で無理のない修繕計画を提案するとともに、今後も積極的に小破修繕を行なうことにより大規模修繕発生抑制に努めてまいります。



【ホール舞台床面の劣化】



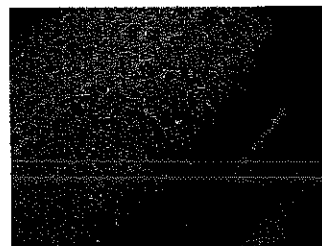
【音響調整卓/故障部品入手困難】



【照明調光卓/故障部品入手困難】



【空調設備/著しい経年劣化】



【ホール座席/座面の破損・汚損】



【エスカレーター/減速機の劣化】

■ 美観維持と長寿命化

ホワイエのチェアの汚れが目立ってきておりますので、休館日にファブリックシートのスチーム洗浄のうえ、染み抜きを実施し、一歩踏み込んだ美観の維持に努めます。

なお、作業については外部委託せず、上大岡に常駐する当グループ清掃スタッフが直接特別清掃を実施することにより、大幅な経費節減が可能となります。

団体名	京急グループ共同企業体
-----	-------------

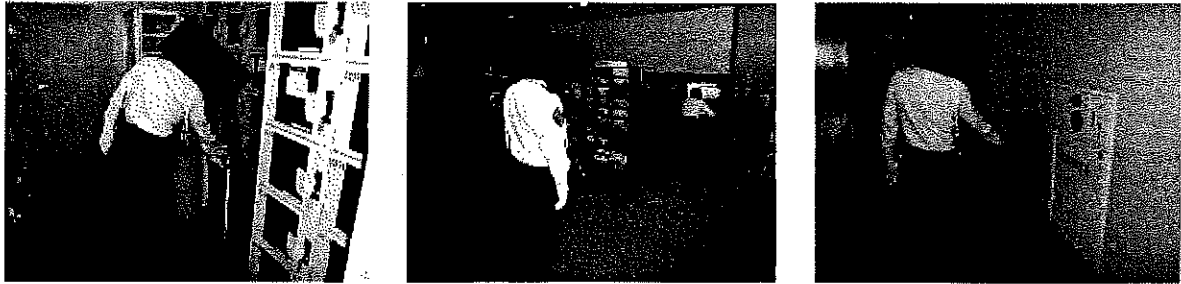
20 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

■ 事故防止体制

施設内の設備等による事故・災害に備え、職員による日常点検と専門業者による定期点検を行ない、発見した不具合、不良箇所を速やかに補修、整備をし、事故の予防に努めます。

日常の施設の防犯警備についてもビル防災センター警備員による定期巡回を実施し、不審物の発見、不審者の行動を抑止し、事故、事件を未然に防ぐよう努め、緊急時にも迅速に対応し、ビル全体のすみ分けが無い警備体制で利用者の安全を確保します。

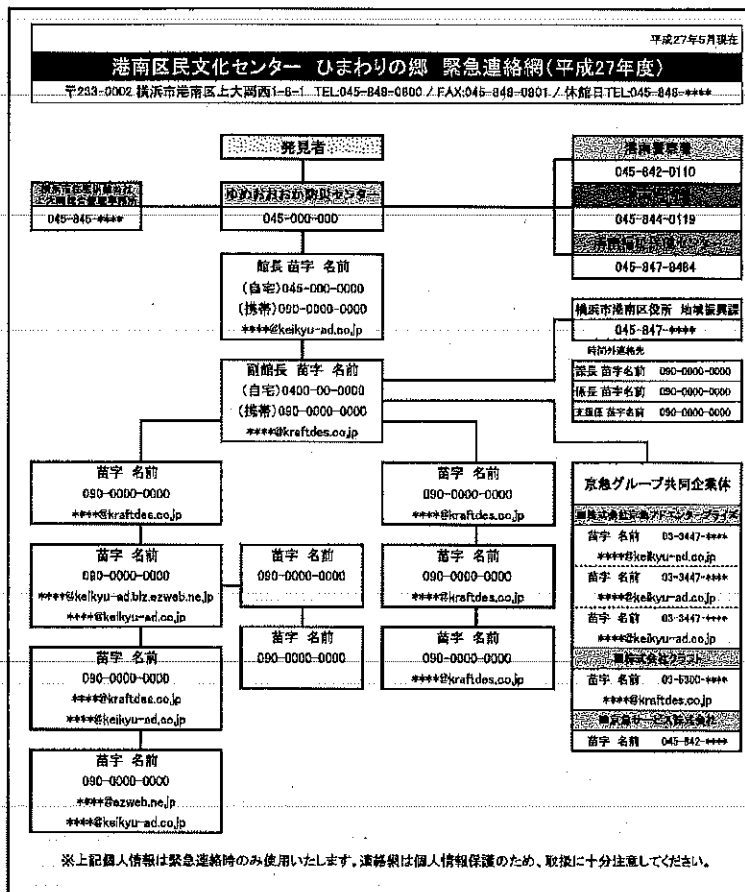
【警備員による施設内巡回警備】



■ 緊急時（防犯・事故・事件・災害）の対応

緊急時は当直職員が直ちに状況を把握し、ビル防災センター警備員と連携し、現場で必要な措置を講じ、緊急連絡網で行政機関を含む関係者に緊急事態発生を通報し、適切な対応を取る体制を構築します。

【緊急連絡網】



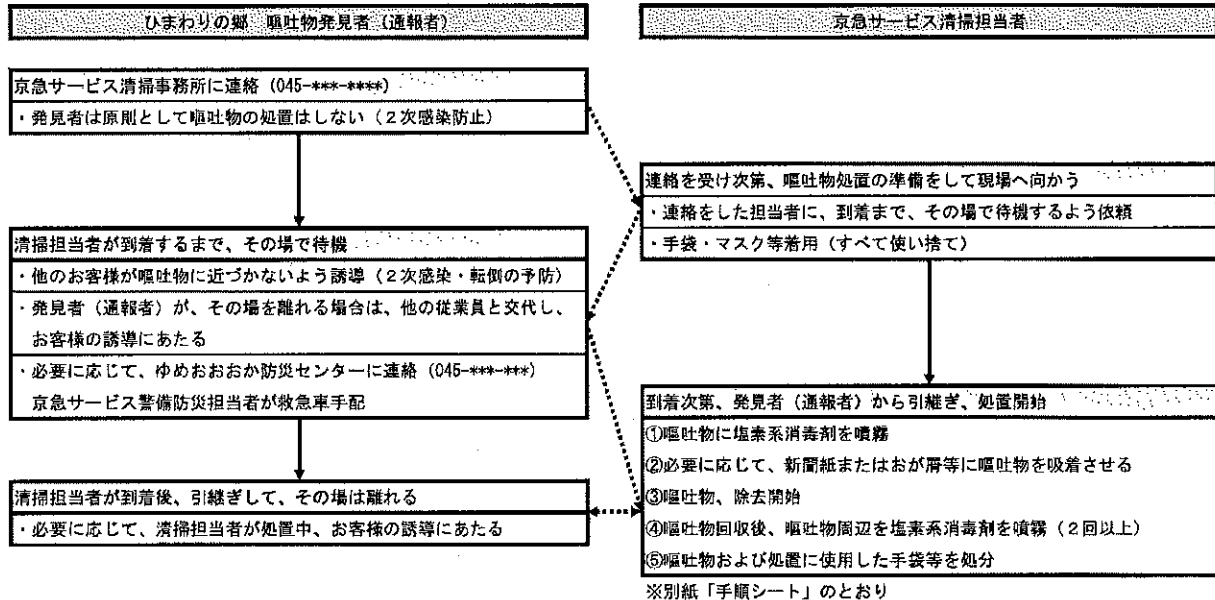
団体名

京急グループ共同企業体

■ 感染症対策等衛生管理（ノロウイルス等2次感染予防）

感染症対策として、館内利用者の嘔吐物等は次の手順で処理することを徹底します。

【嘔吐物発見時の対応マニュアル（ノロウイルス等2次感染予防）】



嘔吐物処理の手順

手順書シート

手	期	担	備	考
1	作業前の準備 必要物品を揃える 使い捨て手袋 マスク ふき取るためのタオルや新聞紙 次亜塩素酸ナトリウム(0.1%) 専用バケツ ビニール袋	口呼吸から防御しておく 早期対応を行い感染源の拡大を防ぐ		
2	嘔吐物の処理 ① 汚染場所には人が近づかないように迅速かつ的確に処理を行う ② 使い捨て手袋 マスクを着用する ③ ビニール袋(回収用)は口を開けておく ④ 新聞紙をかき寄せ、次亜塩素酸ナトリウム(0.1%)を注ぐ ⑤ 新聞紙を外側から内側に向けて、ふき取り面を折り込みながら外側に巻き取り、ふき取る ⑥ ハンドルなどを使って、嘔吐物を取り除く ⑦ ふき取りに使用した新聞紙等を回収袋に入れる ⑧ 回収袋の中に、次亜塩素酸ナトリウム(0.1%)を入れる	早期対応を行い感染源の拡大を防ぐ(嘔吐物の乾燥を防ぐ) 嘔吐物からの感染の予防 ビニール袋の外側の汚染を防ぐ 嘔吐物の飛散防止と消毒	汚染部分を広げないため外側から内側に行う 汚染部分を広げないため外側から内側に行う	同一面ですると汚染が広がるので注意 同一面ですると汚染が広がるので注意 ビニールの外側に汚染物が触れないように注意
3	床の消毒 新聞紙を嘔吐物のあった周囲にかぶせ、次亜塩素酸ナトリウム(0.1%)をひたす	床の消毒		
4	防護用具と回収袋の処理 ① 手袋をはずし、回収袋に入れる ② マスクをはずし、回収袋に入れる ③ 回収袋の内側に触れないよう、袋をしめる ④ 手指衛生を行い、床の消毒をするため10分間放置する(汚染場所には人が入らないように見守りや立札等としておく)	飛散防止と消毒		素手になった回収袋の内側に触れないよう注意する 人が近づかないように注意する
5	床の清掃 ① マスク 手袋を着用する ② 新聞紙を回収袋に入れる ③ 消毒済みの床の水ふき取る ④ 手袋 マスクを外し、回収袋に入れ、回収袋をしめる			袋の外側に触れないよう注意する 床の色が変わるのを防ぐ
6	手袋をはずした後の処理 手洗いをする	手袋は汗、ビニールなど万全とは言えない		



団体名

京急グループ共同企業体

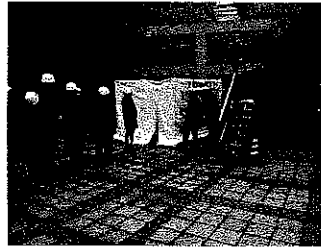
2 1 防災に対する取組

■ 防火・防災訓練の実施

災害等、緊急時に備え、防火・防災の訓練を定期的に行なっていくほか、ホール等をご利用いただく主催者に対しても、災害発生時の取扱い等の啓蒙を行なってまいります。

・災害等、有事の際に施設利用者、来場者を安全且つ、迅速に避難誘導し、施設の被害を最小限にとどめるために、ゆめおおおかビル防災センターと連携して、スタッフの防火・防災訓練を定期的を実施します。

(複合施設を含むビル合同防火・防災訓練 / 年 2 回、当施設単独の防火・防災訓練 / 年 2 回 計 4 回)



【ビル合同防火・防災訓練】

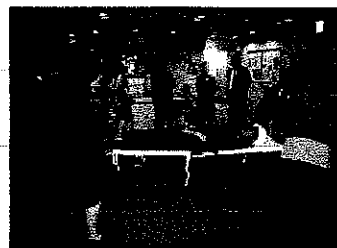
・訓練は施設の防火・防災管理者の指導のもと、危機管理マニュアルにのっとり、緊急連絡方法、消火設備（消火栓、消火器等）の取扱い、避難誘導経路の確認、傷病者の対処方法、AED（自動体外式除細動器）の取扱い等の訓練を全スタッフで実施し、緊急時の対応に備えます。



【消火栓取扱い訓練】



【AED取扱い訓練】



【傷病者搬送訓練】



【消火器取扱い訓練】

・緊急時の対応として、施設を利用する主催者に当施設の避難経路や消火設備の位置、緊急連絡先（消防署、警察署、医療機関等）、各災害（地震、火災等）が発生した際の対応を明記した「緊急事態発生時対応携帯カード」を利用時に貸与し、利用者にも防災意識の向上・啓蒙に努めます。

【緊急時事態発生時 関係者携帯カード】

緊急時事態発生時の対応

● 地震

緊急地震速報(緊急地震速報)が発表された場合、直ちに地震発生を知らせる警報が放送されます。この警報が放送された場合は、直ちに地震発生を知らせる警報が放送されます。

● 火災

火災発生時は、直ちに火災発生を知らせる警報が放送されます。この警報が放送された場合は、直ちに火災発生を知らせる警報が放送されます。

● 避難経路

避難経路は、直ちに避難経路を知らせる警報が放送されます。この警報が放送された場合は、直ちに避難経路を知らせる警報が放送されます。

● 緊急連絡先

緊急連絡先は、直ちに緊急連絡先を知らせる警報が放送されます。この警報が放送された場合は、直ちに緊急連絡先を知らせる警報が放送されます。

● 消火設備の位置

消火設備の位置は、直ちに消火設備の位置を知らせる警報が放送されます。この警報が放送された場合は、直ちに消火設備の位置を知らせる警報が放送されます。

● 備考

このカードは、緊急時事態発生時に貸与いたします。

港区文化センター
緊急事態発生時の関係者携帯カード

緊急事態発生時に、必ず非常口・避難経路・消火設備の位置を確認してください。

● 火災と救急は 119番

● 防災は 110番

● 連絡先

消防署 045-644-0110
警察署 045-644-0110
防災センター 045-000-0000
港区文化センター 045-301-1199

● 避難経路

● 非常口

● 消火設備

● 備考

このカードは、緊急時事態発生時に貸与いたします。

団体名

京急グループ共同企業体

21 防災に対する取組

■ 災害時の情報収集と緊急体制

災害時の情報収集と緊急体制として、以下の備えをいたします。

- ・平常時も含め災害時の情報収集の手段として、登録している「横浜市防災情報サービス」等を活用し、市内の災害情報をリアルタイムに収集し、状況に応じた適切な災害対応に努めます。
- ・大規模災害が発生し、運営スタッフの勤務が困難な状況になっても施設の機能を維持できるよう、静岡県、愛知県の同業（指定管理業者）他社と「公共施設における大規模災害時の応急対策業務実施に関して」契約を結び、受託公共施設に勤務する社員が被災し自社で業務の継続が困難と判断されたり、受託公共施設から応援要請に自社の人員では賄いきれないような状況におちいった場合でも、他地域から業務支援が相互に受けられるよう備えております。

■ 災害時の帰宅困難者への対応

地震や津波等の大規模災害発生により、公共交通機関の運行が停止し、施設利用者、あるいは周辺地域に帰宅困難者が発生した場合、港南区との協定（平成24年4月締結）に基づき、速やかに「帰宅困難者一時滞在施設」として施設の受入れ態勢（当施設受入れ数250名）を整えます。

- ・受入れ時はビル防災センター警備と連携し、帰宅困難者が安全な環境で滞在できるよう配慮します。

帰宅困難者には横浜市より配給されている「災害時帰宅困難者用備蓄品」（飲料水、ビスケット、アルミブランケット、携帯トイレ）を提供いたします。



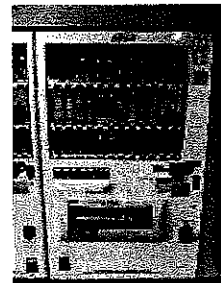
【帰宅困難者用備蓄品】

- ・スタッフの災害時備蓄食料も別途備え、2～3名のスタッフが2～3日間、当直のための滞在ができる態勢を整え、帰宅困難者の対応に当たります。



【当直スタッフ用備蓄品】

- ・既に自販機メーカーと契約し、施設内に「災害時対応自動飲料販売機」を設置しており、災害時には無料で自販機の飲料水を利用者に提供いただけるよう備えております。



【災害時対応自動飲料販売機】

団体名

京急グループ共同企業体

22 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組

1 / 2

■ 個人情報保護と情報公開

利用申込みからチケット購入、ワークショップ受講やダイレクトメール送付先等、区民文化センターでは個人情報を数多く取扱っており、ICTの進化により更にその保護の重要性は高まっております。当グループにおいて施設運営を主に担当する㈱クラフトは日本規格協会が制定した「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項 JIS Q 15001」に準拠した「プライバシーマーク認定」をすでに取得しており、書類や名簿の取扱いには格段の注意を払い、施錠管理やパスワード管理を徹底をはかるほか、当館の個人情報の適正な運用に全スタッフをあげて積極的に取り組んでまいります。



①情報リテラシー向上

- ・個人情報保護に関する教育学習機会を定期的に設け、スタッフの意識向上と適正かつ厳正な管理体制を整えます。
- ・個人情報保護に関する「行動規範」を整備し、スタッフには「守秘誓約書」の提出を義務づけ、在職中退職後にかかわらず、個人情報保護について万全の管理体制を整えてまいります。

②個人情報データの管理

- ・個人情報が記載の紙は管理責任者のマネジメントのもと、鍵付きキャビネットに保管し、不要となった場合もシュレッダー等を用い確実に処分いたします。
- ・パソコンについてはすべてのマシンにパスワードを設定、一元的に管理するほか、個人情報が記載の電子データについても、特定の担当者のみが取扱う運用といたします。

③入室・退室の管理

- ・当施設に従事するすべてのスタッフに身分証を発行し、携行する運用といたします。
- ・個人情報を取り扱う受付や事務スペースを特定し、基本的に部外者の立ち入りを禁止いたします。

■ 情報公開対応

当館にかかわる、情報公開請求がなされた場合には、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」第3条に従い、保有する情報を積極的に公開するよう努め、かつその際には、個人に関する情報がみだりに公にされることのないよう最大限の配慮をし、「横浜市の積極的な情報の公表と提供に関する要綱」の第8条に従い、情報公表・提供報告書に当該情報に係る資料を添えて関係機関に提出いたします。

■ 人権への取組み

区民文化センターの運営にあたっては、差別を受けている人々の立場にたち、差別をなくす姿勢をもつとともに、すべてのスタッフは、担当している業務に習熟することはもとより、人権感覚をみがき幅広い人権に関する素養と問題意識を持って業務の遂行にあたります。

■ 人権への取組みの留意点

人権への取組みを推進するにあたっては、施設内の全スタッフが以下の点に留意いたします。

- ①人権問題は、他人事ではなく自分の問題としてとらえ、考え、業務にあたります。
- ②人権問題の現象面だけでなく、その周辺にある要因を含めて総合的に考えてまいります。
- ③バリアフリーのまちづくりを目指し、高齢者、障害者や子どもなど、あらゆる立場の人々の視点で施設運営をいたします。
- ④人権問題は、個別の要因だけでなく、関連する要因を数多く含んでいることを念頭に置き、同和問題、女性、障害者、子どもにかかわるさまざまな施策が相互に関連し合って人権尊重の取り組みが進展することに留意し業務にあたります。
- ⑤常に、国際的（国連や各国の動向）にも国内的（法律等の制定の推移、他都市の動向）にも変化し続けている人権の取組みに注意を払い、これらの動向を的確に把握し、業務にあたります。
- ⑥人権感覚を研ぎ澄まし、経済の問題や少子・高齢化社会の進展など社会情勢の急激な変化を敏感にとらえ、即応した運営を行なってまいります。

団体名

京急グループ共同企業体

22 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など、本市の重要施策を踏まえた取組

2/2

■ 環境への配慮

近年高まる異常気象への対策として温室効果ガス削減が叫ばれております。当グループでは環境コストの削減を目標に様々な施策を実施し、今後も継続してまいります。

①節電

東日本大震災のあった2011年春以降、電力使用量の削減を目指し、一部電灯のLED化を進め、震災前と比べ30%の削減をいたしております。引き続き、不要電灯の消灯やリハーサル使用時の減灯を進め無理のない省電力を実現してまいります。

②空調温度の設定

近年、夏期、冬期の気温幅が大きく、空調の負荷が増大傾向にあります。当グループでは、【Save Earth】をKeywordに温室効果ガス排出量削減に向けて、空調の温度設定【冷房時28度 暖房時20度 Keep】を目標に掲げております。この実現のために、

1) 主催者への理解を求める丁寧な説明

2) 来場者（ホール観客）への理解を求める広報として、館内掲示やイベントポスター、チラシへの掲示

の両面で温室効果ガス排出量削減の促進をしております。

※ホール公演の本番時には、例外的に冷房時26度 暖房時22度にし、ホスピタリティを損なわない配慮もいたします。

③エコオフィス

業務におけるOA機器やパソコン(PC)への依存度は大変大きくなっており、多くのPC使用による電力使用、廃熱による空調負荷は無視できないものとなっております。また事務所内電灯も大きな電力が使用されております。これらの不要な機器や電灯のこまめなON、OFFにより省電力化を進めるほか、グループウェアを導入し、窓口スタッフ間の引継や事務連絡におけるペーパーレスを進めてまいります。

④ゴミ減量・省資源

ヨコハマ3R夢プラン（横浜市一般廃棄物処理基本計画）第2期推進計画に基づき、ゴミの減量(Reduce)と資源の再利用(Reuse)、ゴミの分別によるゴミの資源化(Recycle)に努め3Rを推進します。

1) リデュース（発生抑制）

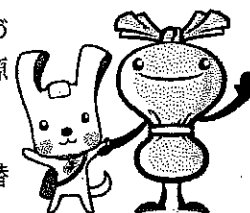
エコオフィスの一環として、FAXによる事務連絡を極力PCメールに切り替える。(FAXの削減と必要な資料のみの印刷による紙資源の減量)

2) リユース（再利用）

紙類の再利用を進める。(裏紙の使用・メモへの利用)

3) リサイクル（再資源化）

事業所系可燃ゴミの約20%がリサイクル可能な古紙（平成24年横浜市実績）です。古紙、プラスチック類の資源化のための分別を推進します。



■ 市内中小企業優先発注

共同企業体構成会社の㈱京急アドエンタープライズ並びに京急サービス㈱はいずれも港南区に本社を置き、これまでも地元団体・企業として地域に貢献するため、備品・消耗品購入や外部委託等は、できる限り横浜市内の企業に発注してまいりました。港南区民文化センター指定管理業務においても、同様の措置を引き続き講じてまいります。

①資材・備品・消耗品購入

日常的に使用する資材・備品・消耗品等については、原則として、市内企業の中から入札等で業者を選定して購入します。

②外部委託業務

外部委託業務（修繕、作業等）については、指名競争入札、見積り合せなど適切な方法により、できる限り市内企業の中から選定して発注します。

団体名

京急グループ共同企業体

2.3 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え

- ・料金設定 ※楽屋・練習室は広さの違うものが複数あるため、それを考慮した料金設定をして下さい。
 - ・附帯設備については、様式33（5年間の収支及び収支バランス）の「利用料金収入」欄に附帯設備も含めた収入を記載してください。
- 【上限額】ピアノ、舞台設備、屋内照明設備、映像設備、音響設備：1式又は1台、1日につき8,000円

【利用料金の設定】※網掛け部分は変更できません。

(単位：円)

種別	区分	午前(9時～12時)		午後(13時～17時)		夜間(18時～22時)		1日(9時～22時)		1日(上限額)	
		平日	土日、休日	平日	土日、休日	平日	土日、休日	平日	土日、休日	平日	土日・休日
ホール	入場料等を徴収しない場合	12,000	16,100	19,800	23,500	17,700	17,900	49,500 (42,500)	57,500 (54,500)	49,500	57,500
	入場料等を徴収する場合	20,000	27,000	33,000	39,500	29,500	30,000	82,500	96,500	82,500	96,500
ギャラリー	入場料等を徴収しない場合							3,400	3,400	3,400	
	入場料等を徴収する場合							5,200	5,200	5,200	
楽屋A		700	700	700	700	700	700	2,100	2,100	3,600	
楽屋B		500	500	500	500	500	500	1,500	1,500		
楽屋C		1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	3,600	3,600		
会議室A		700	700	1,200	1,200	900	900	2,800	2,800	2,800	
会議室B		700	700	1,200	1,200	900	900	2,800	2,800		
			9:15～12:15	12:45～14:45	15:00～17:00	17:30～19:30	19:45～21:45	1日(9時～22時)	1日(上限額)		
音楽ルーム	平日		2,500	2,100	2,100	1,900	1,900	10,500	10,500		
	土日、休日		3,300	2,400	2,400	2,200	2,200	12,500	12,500		
練習室A	平日		1,000	750	750	750	750	4,000	4,300		
	土日、休日		1,100	800	800	800	800	4,300			
練習室B	平日		600	500	500	500	500	2,600	4,300		
	土日、休日		700	550	550	550	550	2,900			
団体名		京急グループ共同企業体								(43/47)	

2.3 利用料金の考え方と具体的な料金設定、支払方法や割引料金・減免等の運用方法の考え

(1) 利用料金設定について

利用にあたり、抽選になるなど稼働率が高い曜日、時間帯のコマがある一方、利用者がなかなか定着せず、空室のまま消費されてしまうコマが当ホールにはございます。具体的には、1日3コマの利用区分のうち、平日は午前中または夜間の1コマのみ、日曜祝日は夜間1コマのみが利用されずに比較的単体で空きコマとして残りやすい傾向がございます。このためまず、これらの時間帯につきまして他の時間帯(午後)より利用料金を割安に設定することで(1コマ利用の)新たな利用促進を図ります。また、利用率の平準化と公平性を求めるため、他の貸館部分につきましても、料金設定の変更を記載のとおり提案いたします。

(2) 割引料金の設定について

①ホールの直前割引制度を継続いたします。

本年2月から導入いたしました、ご希望日から数えて14日を切ったホールの練習利用のお申込みの施設利用料を50%を割引く制度については、堅調に利用される方が増えてまいりました。ご希望日から数えて28日を切ったホール練習利用の施設利用料を30%割引の制度と併せ、利用される方への周知を引き続き進め、空きコマ撲滅に邁進いたします。

②ホールの「終日利用割引」、ならびに「平日(横浜市立一般小学校の休校日を除く)2階不使用本番割引」の導入をあらたにご提案いたします。

入場料をとらないでホールを2区分連続(午前+午後または午後+夜間)でご利用されるお客様に対し、残るもう1区分のご利用をご検討していただくために、終日ホール利用額を本来の3区分の合計料金から平日は7千円、日祝日は3千円を割引くサービスをご提案いたします。これによって、仮に平日の9時~17時にホール利用(31,800円)をされようとしていたお客さまは、16時頃までに客出しを想定しなければならなかったものが、あと10,700円プラス(本来は17,700千円)するだけで、18時でも20時まででも余裕をもった客出時間を設定することが可能となります。また中規模の催事需要にお応えするため、1階席(240席)のみを本番でご使用になられる場合に限り、ホール利用料金から20%を割引く制度の導入もあわせてご提案いたします。(準備・練習・搬出でのご利用は、すでに30%引きとなっておりますので対象外といたします)

(3) 支払方法について

従来、施設利用料の支払方法につきましては、対面で現金での收受に限らせて頂いておりましたが、銀行振込での支払を希望されるお客さまからの要望が多くなってきております。このためホール・音楽ルームのご利用料金のお支払いで支払総額が1万円以上の場合に限り、以下の取扱いで銀行振込でのお支払も可能といたします。

①手続き期間内の利用許可を受ける予定の前日以前に振込が完了していること ②振込手数料は利用者負担 ③キャンセル等による返金は現金のみ取扱い

(4) 施設利用料の減免について

施設利用料の減免については、横浜市区民文化センター条例第15条、ならびに同施行規則第12条に則り、横浜市が共催する文化事業の実施のために利用する場合に限り利用料金の5割相当額を減免いたします。

団 体 名

京急グループ共同企業体

2 4 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

1 / 2

■ 指定管理料のみに依存しない収入構造

港南区民文化センターの収入の中で指定管理料を除いてもっとも大きな収入源であるものは、利用料収入であり、次いで自主公演事業収入となります。これらの収入を左右するのは利便性と考えます。自主公演についてはチケット会員に限定の電話予約受付やWEBチケット販売（ロングランプランニング株式会社提供「カンフェティ」）など対面以外の新たな販売方法を取り入れ、利便性の向上を図るほか、WEBページ内において、施設内写真や各種図面、申請書類ダウンロードなど、コンテンツを豊富に提供いたします。また、利用料収入の向上のため、観客席の各所からの舞台の見え方など、会場に向いて下見をせずとも雰囲気わかる仕組み（「アイデア・ノウハウ」の提案参照）で、利用予約に結びつけてまいります。

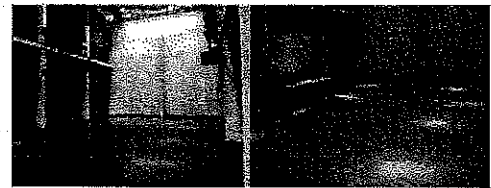


①空きゴマ（未予約枠）の活用

ホールの空きゴマ（未予約枠）は施設にとって影響が大きく、解決していかなければいけない課題ですが、新たな取り組みとしてこの窮状を逆手に利用し、空きゴマを対象とした自主事業「アフタヌーンコンサート（年記者ターゲットの安価なクラシックコンサート）」を開催してまいります。また、導入後、確実にご利用者が増えてきている、4週間ならびに2週間で切ったホールの直前の練習利用割引制度を引き続き継続（「貸出業務の取組み」を参照）し、あらたな利用者の掘り起こしを行ないます。

②多目的利用

港南区民文化センターの音楽ルームはフローリングの床、音響壁の仕様となっています。私どもは既にここに組み立て式クッションカーペットタイルを持込み柔らかい床を実現。これにより床幼児の寝転びが可能となり、乳幼児の対象事業の安全性が増す一方で、椅子不使用によるキャパシティの増加、乳児を連れた保護者の利便性の確保が図



られ、音楽ルームを乳幼児向けの多目的ルームとして利用することが可能となり、利用の促進が図られています。

③協賛金・助成金

ひまわり開業15周年記念事業の際に多数の企業、団体さまから協賛金を募り、事業を成功をさせることができました。また毎年行なわれるKSDC（港南ストリートダンスコンテスト）の成績優秀者への賞品やスタッフTシャツ提供、夏のオープンデーでのお楽しみ抽選会の賞品協賛など、京急グループ企業をはじめ、港南区の企業・商店主さまからさまざまな事業協賛を得ており、今後も引き続き協力を求めていくほか、様々な文化助成金をいただけるよう努力してまいります。



④その他収入

毎月発行している、施設広報誌「ひまわり通信」に企業広告を入れ、些少ではありますが広告料をいただいております。また、港南区民文化センター内にある2台の飲料自動販売機のほか、共同企業体で設置した特殊簡易公衆電話（ピンク電話）、携帯通信会社の「Wifiスポット」等の設置料、利用者さまからご依頼されたコピー機使用料等、少額でありながらも貴重な収入源と捉えており、今後もこれら雑収入の拡大にも努めてまいります。



団体名

京急グループ共同企業体

■ 経費削減等効率的運営の努力

10年前、指定管理者制度が導入された大きな趣旨に「運営の効率化」と「運営の質の向上」というどちらも欠くことのできない狙いが掲げられました。しかしこの10年間、コスト削減ばかりが重要視されサービスの質の低下を招いた施設や、実現性の乏しい事業計画、あるいはこれを担う人財の不足等により、サービス水準を維持することさえ困難な事例さえ散見されています。港南区民文化センターを当グループで運営するようになって以来、こうした状況は全く発生していないと自負しております。それは単に京急グループのお膝元であるというプレッシャーのみならず、運営の「効率化」と「質の向上」を反比例する事象と捉えず、その両方を実現するという重大な使命を理解し、かつ可能にする人財とノウハウを共同企業体構成社の各社が経営資源として持っているからであると考えます。

①人財の活用

港南区民文化センターではほぼすべての専従者がシフト勤務となっており、お客さまの様々なニーズ全てに応えようとした場合、専従者の能力も人数も増やして対応しなければなりません。また自主公演等に際しても専従者のみで対応しようとした場合、それに応えられるだけのスタッフを常時揃えることとなり人件費の増大を招いてしまいます。私ども共同企業体は、それぞれの構成企業の特徴を活かし役割を決め、各グループ企業本社から、舞台技術者や、応援スタッフなどを必要に応じて派遣することで、現場に負担をかけずにお客さまの満足を引き出す仕組みでこの課題に対応してまいります。

②省エネルギー

「環境への配慮」の項でもすでに述べておりますが、節電や空調温度のコントロール、エコオフィスやゴミ減量・省資源への取組みは、すべてコストの圧縮につながってまいります。私どもはこれらに真摯に取り組み、経費の削減に繋げてまいります。

③一括購入等の消耗品費の削減

消耗品・什器備品などの購入に際しては、京急グループの流通ネットワークやスケールメリットを活かした、複数仕入、一括仕入により購入単価の低廉化を目指し、購入コストの圧縮に努めます。

④資材の借用や中古備品の活用

特殊な舞台照明や音響機材などはお客さまのニーズに応じ、グループ構成企業から格安でレンタル等を行うことで調達自体をせずともお客さまサービスの維持を図ることが可能です。また事務機器など特殊性の発生しない備品類については、グループ構成企業で余剰となった機器等を安価に払下げを受け活用するなどし、備品調達費の圧縮を図ります。

団体名

京急グループ共同企業体

25 5年間の収支及び収支バランス (港南区民文化センター)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	説明
指定管理料	139,657,922	139,648,680	139,639,562	139,630,567	139,621,696	横浜市より
利用料金収入	25,000,000	25,100,000	25,200,000	25,300,000	25,400,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 収入	5,200,000	5,200,000	5,200,000	5,200,000	5,200,000	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	1,300,000	1,320,000	1,340,000	1,360,000	1,380,000	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	504,000	504,000	504,000	504,000	504,000	
その他 ()	796,000	816,000	836,000	856,000	876,000	預かりチケット販売手数料、チケット送料、広告収入、公衆電話・コピー代
収入合計	171,157,922	171,268,680	171,379,562	171,490,567	171,601,696	

支出の部

科目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	説明
人件費	68,971,490	69,048,648	69,125,916	69,203,294	69,280,783	
給与・賃金	60,805,305	60,866,110	60,926,976	60,987,903	61,048,891	
社会保険料	5,450,965	5,467,318	5,483,720	5,500,171	5,516,671	
通勤手当	2,715,220	2,715,220	2,715,220	2,715,220	2,715,220	
健康診断費	-	-	-	-	-	健康診断にかかる費用は給与・賃金に含む
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	-	-	-	-	-	退職給付引当金繰入額にかかる費用は給与・賃金に含む
事務費	9,797,056	9,797,056	9,797,056	9,797,056	9,797,056	
旅費	168,000	168,000	168,000	168,000	168,000	
消耗品費	777,600	777,600	777,600	777,600	777,600	
会議備い費	19,200	19,200	19,200	19,200	19,200	運営協議会・ミーティング時お茶代等
印刷製本費	3,861,716	3,861,716	3,861,716	3,861,716	3,861,716	外注印刷、内製印刷機、コピー機使用料含む
通信費	1,183,000	1,183,000	1,183,000	1,183,000	1,183,000	電話・インターネット回線、配送費(郵送・宅急便)含む
使用料及び賃借料	1,525,000	1,525,000	1,525,000	1,525,000	1,525,000	
横浜市への支払分	74,400	74,400	74,400	74,400	74,400	目的外使用料
その他	1,450,600	1,450,600	1,450,600	1,450,600	1,450,600	広告看板
備品購入費	648,000	648,000	648,000	648,000	648,000	
図書購入費	491,000	491,000	491,000	491,000	491,000	WEBページ等コンテンツ制作・運営費
施設賠償責任保険	325,740	325,740	325,740	325,740	325,740	
職員等研修費	228,960	228,960	228,960	228,960	228,960	
振込手数料	30,800	30,800	30,800	30,800	30,800	
リース料	538,040	538,040	538,040	538,040	538,040	コピー機、印刷機ほか
手数料						
地域協力費						
事業費	10,983,000	10,983,000	10,983,000	10,983,000	10,983,000	
自主事業 (指定管理料充当の自主事業) 費	10,983,000	10,983,000	10,983,000	10,983,000	10,983,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	81,190,376	81,223,976	81,257,590	81,291,217	81,324,858	
光熱水費	18,345,000	18,358,600	18,372,214	18,385,841	18,399,482	横浜市住宅供給公社ゆめおおおか管理組合への支払
電気料金	7,900,000	7,907,900	7,915,808	7,923,724	7,931,647	空調・中水にかかわる分を除く
水道料金	195,000	195,000	195,000	195,000	195,000	空調・中水にかかわる分を除く
空調料金	5,700,000	5,705,700	5,711,406	5,717,117	5,722,834	電気・ガス・水道使用
中水料金	4,550,000	4,550,000	4,550,000	4,550,000	4,550,000	電気・水道使用
清掃費	9,650,000	9,650,000	9,650,000	9,650,000	9,650,000	人件費を含む
修繕費	1,746,000	1,766,000	1,786,000	1,806,000	1,826,000	
廃棄物処分費	119,260	119,260	119,260	119,260	119,260	
設備保全費	18,475,000	18,475,000	18,475,000	18,475,000	18,475,000	各保守点検費含む
共益費	32,855,116	32,855,116	32,855,116	32,855,116	32,855,116	横浜市住宅供給公社ゆめおおおか管理組合(使用料も含む)
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0	0	0	0	0	
消費税	0	0	0	0	0	※5年間を通して消費税率は8%として提案して下さい
印紙税	0	0	0	0	0	
その他 ()						
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一対応費	216,000	216,000	216,000	216,000	216,000	
支出合計	171,157,922	171,268,680	171,379,562	171,490,567	171,601,696	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業収入	5,200,000	5,200,000	5,200,000	5,200,000	5,200,000
自主事業費支出	10,983,000	10,983,000	10,983,000	10,983,000	10,983,000
自主事業収支	△ 5,783,000	△ 5,783,000	△ 5,783,000	△ 5,783,000	△ 5,783,000
管理許可・目的外使用許可収入	504,000	504,000	504,000	504,000	504,000
管理許可・目的外使用許可支出	74,400	74,400	74,400	74,400	74,400
管理許可・目的外使用許可収支	429,600	429,600	429,600	429,600	429,600

